

マルチディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MEX-R1



安全のために

本機は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故の原因となります。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこなうなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

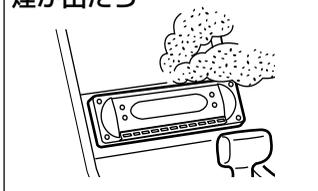
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分煙禁止

行為を指示する記号



指示

目次

⚠警告・⚠注意	4
はじめに	6
この取扱説明書の使いかた	6
再生できるディスクについて	7
準備	10
DVDを見る・CDを聞く	12
ラジオを聞く	13
各部のなまえ	14
メニュー画面の見かた	17

DVD/CD

ディスクを再生する	19
ディスクの情報を見る	22
見たいところ、聞きたいところを さがす(早送り/早戻し)	23
DVDのメニューを使う	24
プレイバックコントロール機能を 使う(PBC再生)	24
再生モードを使う(リピート/ シャッフル/頭出し)	25

DVDのいろいろな操作

音声を切り換える	29
アングルを切り換える	31
字幕を表示する	31
拡大して表示する	32
画質を切り換える	33
ディスクの再生を制限する (視聴制限)	34

DVDの設定と調整

セットアップメニューを使う	38
表示言語や音声言語の設定 (言語設定)	39
画像に関する設定(画面設定)	40
視聴に関する設定(視聴設定)	41
音声に関する設定 (オーディオ設定)	42

ラジオ

放送局を自動で登録する	43
放送局を手動で登録する	45
放送局を名前で探す(リスト)	46

サウンドの設定

DSOを設定する	47
イコライザーを使う(EQ7)	48
音質や音のバランスを設定する (バス・トレブル・バランス・ フェーダー・サブウーファー) ...	49
スピーカーのカットオフ周波数を 選ぶ(HPF・LPF)	50

その他の操作

音や表示などの設定を換える	51
ディスク/放送局に名前をつける (カスタムファイル・ディスク メモ・ステーションメモ)	53
別売りの機器をつなぐ	55
フロントとリアの出力を換える (ZONE×ZONE)	59

使用上のご注意	61
故障かな?	65
用語解説	72
保証書とアフターサービス	73
主な仕様	73
言語コード一覧表	75
索引	76



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



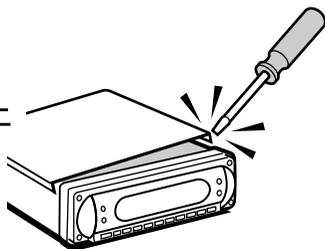
指示

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

警告

- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに多量の水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の (+) と (-) を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池は充電しない。
- 電池に液漏れや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を水などで濡らさない。

はじめに

- DVDビデオ、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、CD、CD-R/-RW、VCDが再生可能。
DVD-RWではビデオモードと多彩な編集が可能なVRモードに対応（DVD+RWでは+VRモードに対応）。
- 「1回だけ録画可能」な映像を再生できるCPRM*1対応。
- DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、CD-R/-RWに記録したMP3ファイルが最大1000曲*2再生可能。
- 映像出力2系統（フロント/リア）、ZONE×ZONE音声出力1系統、デジタル音声出力1系統を装備。
- ZONE×ZONE
フロントシートでラジオやCD/MDチェンジャーの音楽を聞きながら、同時にリアモニターにDVDの映像が出力できます。
- ピクチャーEQ
外光の強さや明るさなど、車室環境に応じてお好みの映像出力をプリセットから選べます。
- DVDレベル調節
ドルビーデジタル、DTS、PCMによる出力レベル差を解消し、ディスクやソースの違いによる音量差を低減します。
- DSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）
独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現します。
- EQ7
好みの音質に調節可能な7バンドイコライザー。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー（別売り）に対応。

*1 CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。

*2 曲数は曲の長さにより変わります。

この取扱説明書の 使いかた

- この取扱説明書では、カードリモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。カードリモコンと同じなまへの本体のボタンも同じように使えます。
- DVD-R/-RW、DVD+R/+RWを総称してDVDと表現しています。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	DVDビデオ、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWで使える機能
	ビデオCD/ビデオCDフォーマットのCD-R/-RWで使える機能
	音楽用CD/音楽用CDフォーマットのCD-R/-RWで使える機能
	CD-ROM/-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWのMP3ファイルで使える機能
	CD-ROM/-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWのJPEG画像で使える機能

- この取扱説明書では、本機およびカードリモコンの使いかたのほか、別売りのソニー製ロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクが再生できます。

ディスクの種類

DVDビデオ



DVD-R*1
(MP3/JPEG)



DVD-RW*1*2
VRモード/ビデオモード
(MP3/JPEG)



DVD+R*1
(MP3/JPEG)



DVD+RW*1
(MP3/JPEG)



ビデオCD



音楽用CD



CD-R*1
(MP3/JPEG)



CD-RW*1
(MP3/JPEG)



*1 ファイナライズしていないディスクは再生できません。

*2 CPRM対応

“DVD VIDEO”、“DVD-R”、“DVD-RW”、“DVD+R”、“DVD+RW” ロゴは商標です。

DVD

音声と映像を記録できるディスクです。現在のCD-ROMの約7倍の容量があり、12cmのディスクの場合、最長で約4時間（両面の場合約8時間）の再生が可能です。DVDは、片面1層、片面2層、両面1層、両面2層の4種類のディスクが規格化されています。

ビデオCD (VCD)

音楽用CDと同じサイズのディスクに、音声と映像を記録できます。12cmのディスクは最長で74分の再生が可能です。

音楽用CD (CD)

音声を記録できるディスクです。12cmのディスクは最長で74分の再生が可能です。（CD TEXTとは、ディスク名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。）

レコーダブルCD (CD-R)

個人で編集できるCDです。CD-Rレコーダーで1度だけ書き込みができます。

リライタブルCD (CD-RW)

個人で編集できるCDです。CD-RWレコーダーで何度も書き込みができます。

CDエキストラ (CD-Extra)

音声とデータが2つのセッションに記録されているCDです。本機では、“音声部分のみ”再生できません。

次のページへつづく

で注意

- 本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式 (PAL/SECAM) 対応のディスクは再生できません。
- お客様が編集されたDVD-R/-RW、DVD+R/+RWおよびCD-R/-RWディスクは、書き込みに使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理 (通常のプレーヤーで再生できるようにする処理) をされていないDVD-R/-RW、DVD+R/+RWおよびCD-R/-RWディスクは再生できません。
- パケットライト方式で記録したディスクは再生できません。
- 記録用ディスクは、高温下において正しく再生できない場合があります。
- 本機で次のディスクを再生することはできません。
 - 8cmディスク*
 - MP3/JPEG以外のデータのCD-ROM
 - CD-G
 - Photo CD
 - VSD (ビデオシングルディスク)
 - MP3/JPEG以外のデータのDVD-ROM
 - DVD-RAM
 - DVD-Audio
 - DVD+R DL (2層)
 - Active Audioのデータ部分
 - CD-Extraのデータ部分
 - Mixed CD
 - SVCD
 - SACD
 - CDV
- * 8cmディスクアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

透明なディスクについて

12cmディスクでも、データ部分が8cmのみで、その周りが透明なディスクは、本機では再生できません。

地域番号 (リージョンコード) について

著作権保護を目的に設けられた制度です。DVDビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



DVD、ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

- 本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



- Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS 2.0+Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。



DualDiscについてのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

映像出力について

フロント映像出力に接続したモニターでは、DVDおよびビデオCDの映像は、停車中にパーキングブレーキを引いた状態でなければご覧いただけません。

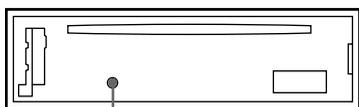
リア映像出力に接続した場合も「走行中に映像はご覧いただけません」と表示されますが、故障ではありません。

準備

本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、RESETボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し、RESETボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



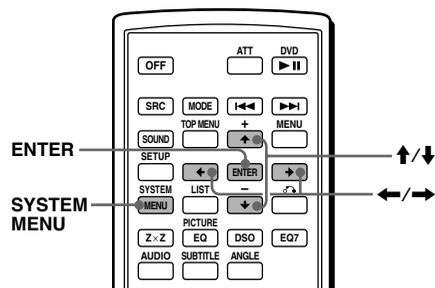
RESET

ご注意

- RESETボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- RESETボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にディスクを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はディスクを入れないください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



1 SYSTEM MENUボタンを押す。

2 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、「CLOCK-ADJ」を選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

「時」が点滅します。



① ↑または↓ボタンを繰り返し押して「時」を合わせる。

② →ボタンを押す。「分」が点滅します。

③ ↑または↓ボタンを繰り返し押して「分」を合わせる。

4 ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面が表示されます。

時計を表示させるには

「CLOCK-ON」に設定します。(51ページ)

デモモードについて

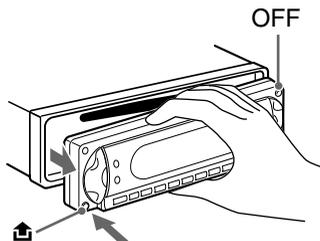
RESETボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、「DEMO」(デモモード)を「OFF」にしてください。(51～52ページ)

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

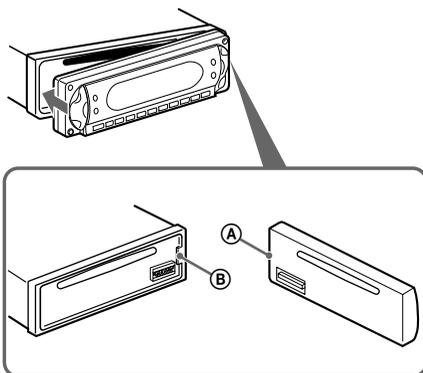
取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、を押して手前に引いて外します。



取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の⑤部分を合わせます。フロントパネルの左側も合わせてカチッとほまるまで押しします。



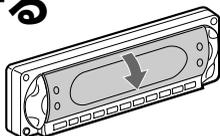
ご注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。変形するおそれがあります。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上部を押したり、強い力をあたえないでください。変形による故障の原因となります。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース(付属)に入れてください。そのまま放置すると、落下による破損や故障およびキズになるおそれがあります。

DVDを見る・CDを聞く

DVDを見るときは、モニターの電源を入れ、本機の画像が映るようにモニターの入力を切り換えます。ディスクの再生について詳しくは、19ページをご覧ください。

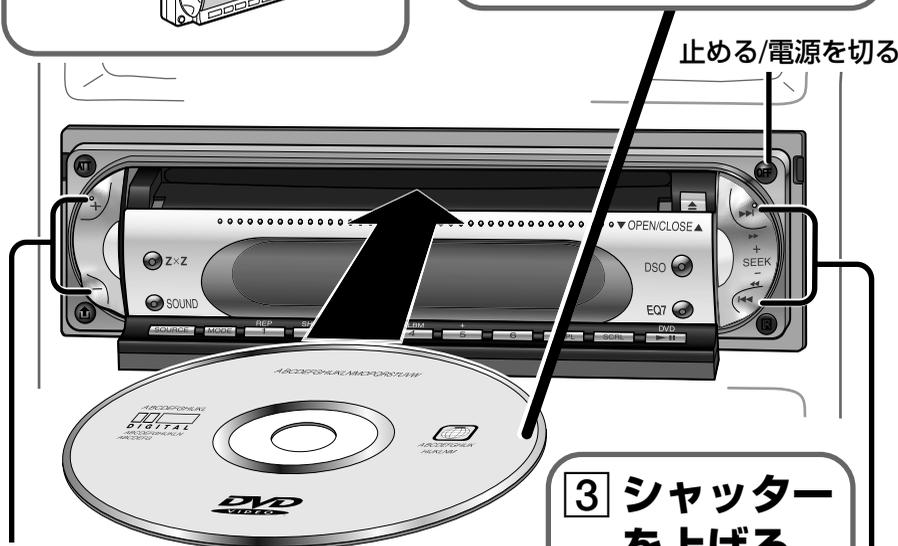
1 シャッターを下げる



2 ディスクを入れる

再生したい面を下にして入れます。
自動的に再生が始まります*。

* DVD▶▶ボタンを押さないと再生が始まらないディスクもあります。



止める/電源を切る

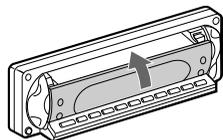
音量を調節する

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して、再生したい
ソースの表示にすると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DSPLボタンを押します。

ディスクを取り出すには
14ページをご覧ください。

3 シャッターを上げる



本機は8cmディスクの再生はできません。
8cmディスクアダプターも故障の原因になり
ますので使用しないでください。

聞きたいところを探す (手動サーチ)

SEEKボタンを押し
続けて、聞きたい
ところで離します。

先に進める
前に戻す



曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

SEEKボタンを、
とばしたい曲の
数だけ短く押します。

次の曲へ進む
曲の頭や前の
曲へ戻す



ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

SOURCEボタンを押して「TUNER」を選びます。

音量を調節する



2 聞きたいバンドを選ぶ

MODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

止める/電源を切る

3 聞きたい放送局を選ぶ

放送局を登録してあるときに選ぶことができます。

登録のしかたは43～46ページをご覧ください。

自動選局で受信する(自動選局)

聞きたい放送局を受信するまで、SEEKボタンを繰り返し短く押します。

次の放送局を探す

前の放送局を探す



希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

高い周波数の
放送局を探す

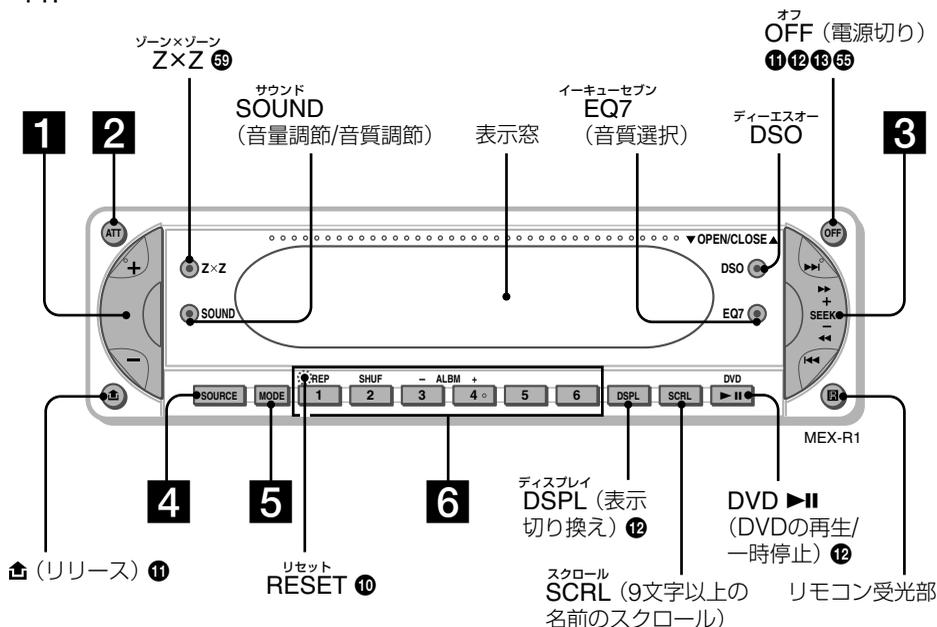
低い周波数の
放送局を探す



各部のなまえ

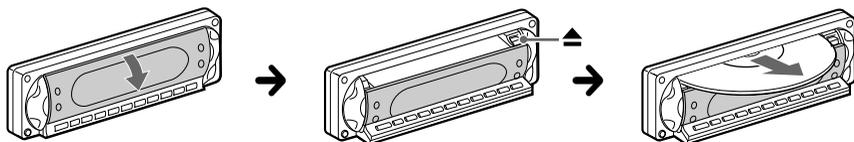
くわしい説明は●内のページをご覧ください。

本体



ディスクを取り出すには

シャッターを下げて開く。 イジェクトボタンを押す。



ディスクが出ます。

ご注意

ディスクの取り出し、挿入中はシャッターを上げないでください。
ディスクがはさまれ、傷つくおそれがあります。

1 ボリュームボタン (音量調節/音質調節)

12 13

+: 大きく

-: 小さく

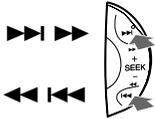


サウンド設定時：サウンドの調節 49

2 アッテネート
ATTボタン*1

音量を瞬時に小さくしたいときに押します。「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もう一度押すと、「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

3 シーク
SEEK +/-ボタン (ラジオ選局/頭出し/設定項目の選択)

ラジオ	周波数の高い 放送局へ	周波数の低い 放送局へ
	13	13

DVD/ CD	次のチャプ ター/曲へ (短く押す) 早送り (押し続ける)	前のチャプ ター/曲へ (短く押す) 早戻し (押し続ける)
	12 55	12 55

4 ソース
SOURCEボタン (ラジオ/DVD/CD/
AUXの切り換え) 12 13 55 59**5** モード
MODEボタン

ラジオ	FM1/FM2/AM1/AM2の 切り換え 13
-----	-----------------------------

CD (MD)	接続機器の選択 55
---------	------------

6 数字 (1~6) ボタン

ラジオ	放送局の登録/選択 13
-----	--------------

CD	1: ^{リピート} REPボタン 26 55
	2: ^{シャッフル} SHUFボタン 27 55
	3: ^{アルバム} ALBM-ボタン*2 55
	4: ^{アルバム} ALBM+ボタン*2 55

*1 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)

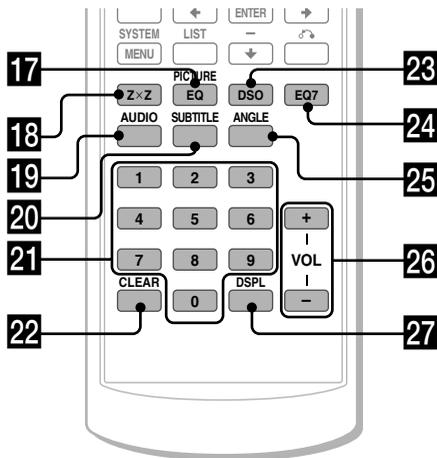
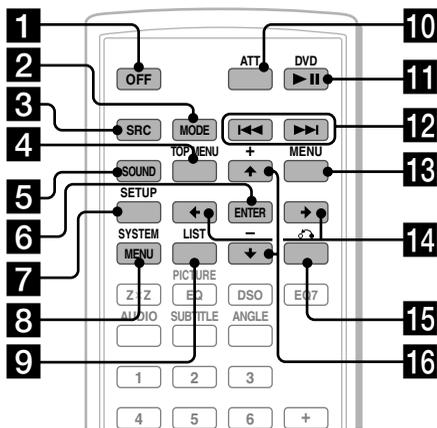
*2 MP3/JPEG再生時のみ

CD/MDチェンジャー再生時の操作については、55ページをご覧ください。

ACCポジションのない車のときは、OFFボタンを押し続けて表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

次のページへつづく

カードリモコン RM-X702



- 1** オフ
OFFボタン 19 21 55
- 2** モード
MODEボタン 43 45 55
- 3** ソース
SRCボタン 43 45 55 58
- 4** トップメニュー
TOP MENUボタン 24
- 5** サウンド
SOUNDボタン 49
- 6** エンター
ENTERボタン 10 24 25 26 28 29 32 33 34 38
43 46 48 50 51 53 55 58
- 7** セットアップ
SETUPボタン 25 26 28 29 32 33 34 38
- 8** システムメニュー
SYSTEM MENUボタン
10 29 43 48 50 51 53 58
- 9** リスト
LISTボタン 46 55
- 10** アッチネート
ATTボタン
ディーブイディー
- 11** DVD ▶|| (再生/一時停止) ボタン 19 21
- 12** ◀||▶ (早戻し/早送り/ラジオ選局)
ボタン 21 23 43 55
- 13** メニュー
MENUボタン 24
- 14** カーソル◀/▶ボタン 10 19 21 24 29 32 33
34 43 48 49 50 51 53 55
- 15** ⌂ (リターン) ボタン 24 34 38
- 16** カーソル↑/↓ボタン 10 21 24 25 26 28 29 32
33 34 38 43 46 48 50 51 53 55 58

- 17** ピクチャー イーキュー
PICTURE EQボタン 33
- 18** ソーン×ゾーン
Z×Zボタン 59
- 19** オーディオ
AUDIOボタン 29
- 20** サブタイトル
SUBTITLEボタン 31
- 21** 数字 (1~0) ボタン 24 28 34 43 45
- 22** クリア
CLEARボタン 28
- 23** ディーエスオー
DSOボタン 47
- 24** イーキューセブン
EQボタン 48
- 25** アングル
ANGLEボタン 31
- 26** ボリューム
VOL +/- (音量調節) ボタン
- 27** ディスプレイ
DSPLボタン 22 43

ご注意

電源を切り、表示窓を消しているときは、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

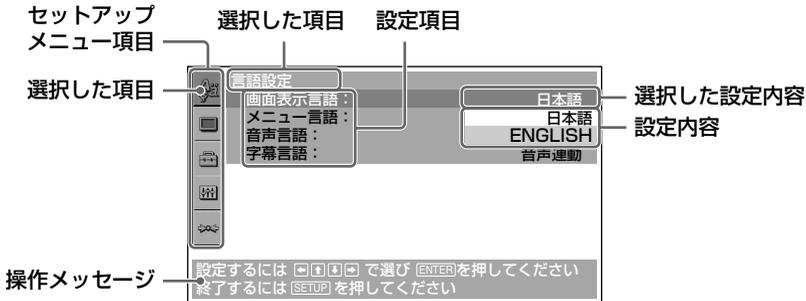
内蔵のリチウム電池の交換のしかたについては「カードリモコンの電池の入れかた」(62ページ)をご覧ください。

メニュー画面の見かた

ここでは、メニュー画面について説明します。

セットアップメニュー画面

OFF時にカードリモコンのSETUPボタンを押すと、以下の画面になります。

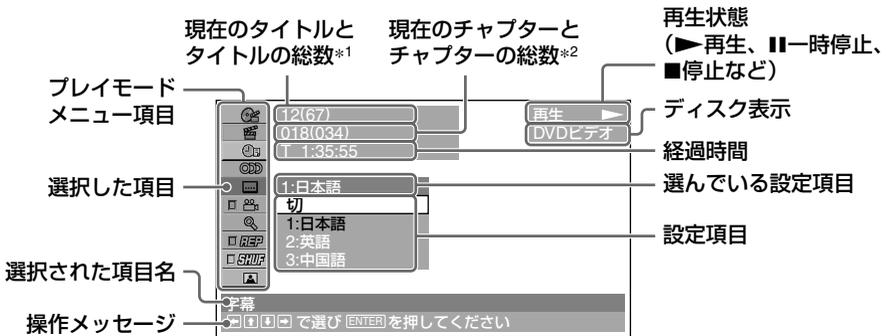


プレイモードメニュー画面 **DVD** **VCD** **JPEG**

再生中にカードリモコンのSETUPボタンを押すと、以下の画面になります。

プレイモードメニューの項目はディスクの種類によって異なります。

例：DVD再生時のプレイモードメニュー画面



*1 ビデオCDのときはトラック、JPEGのときはアルバムが表示されます。(ビデオCDをPBC再生しているときは表示が出ません。)

*2 JPEGのときは、現在のイメージとイメージの総数が表示されます。

ご注意

- CD、MP3の再生中は、プレイモードメニュー画面は表示されません。
- JPEGのときは、完全に画像が表示されてからSETUPボタンを押してください。

次のページへつづく

プレイモードメニュー画面項目一覧

各項目の詳しい説明は、() 内のページをご覧ください。

項目	項目名・機能・対応するディスク
	タイトル/トラック (27~28ページ) 再生するタイトルやトラックを選びます。 DVD VCD
	チャプター (27~28ページ) 再生するチャプターを選びます。 DVD
	アルバム (27~28ページ) 再生するアルバムを選びます。 JPEG
	イメージ (27~28ページ) 再生するイメージを選びます。 JPEG
 	時間/テキスト (22、27~28ページ) 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲をさがします。 DVDテキストを表示します。 DVD VCD JPEG
	音声 (29~30ページ) 音声を切り換えます。 DVD VCD
	字幕 (31ページ) 字幕を表示します。 字幕の言語を切り換えます。 DVD
	アングル (31ページ) アングルを切り換えます。 DVD
	ズーム (32ページ) 画像を拡大して表示します。 DVD VCD
	リピート (25~26ページ) ディスク全体 (全タイトル/全トラック/全アルバム) または1つのチャプター/トラック/アルバムだけを繰り返し再生します。 DVD VCD JPEG
	シャッフル (26~27ページ) タイトルやチャプター、トラックをランダム (無作為) に再生します。 DVD VCD JPEG
	ピクチャーEQ (33~34ページ) 画質を調整します。 DVD VCD JPEG

ちょっと一言

「切」以外を選んでいるときはプレイモードメニューアイコンが緑に点灯します。

 →  (「リピート」、「シャッフル」のみ)

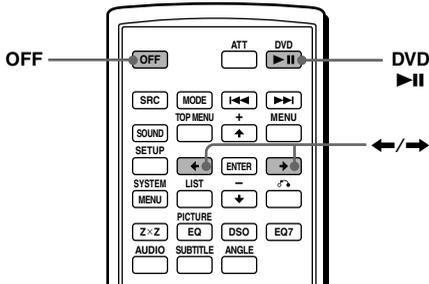
「アングル」では、アングルが切り換え可能なときにアイコンが緑に点灯します。(場面によっては、点灯していても切り換えが禁止されている場合があります。)

ディスクを再生する

DVD VCD CD MP3 JPEG

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

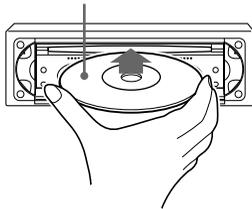
ディスクによっては、禁止されている操作もあります。



1 モニターの電源を入れ、本機の画像が映るように、モニターの入力を切り換える。

2 ディスクを入れる。

再生したい面を下に



自動的に再生が始まります*。

* DVD▶▶ボタンを押さないと再生が始まらないディスクもあります。

DVD/ビデオCDのとき

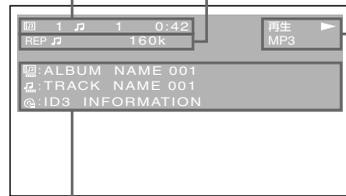
ディスクによっては、画面にメニューが表示されることがあります。詳しくは24ページをご覧ください。

CD/MP3のとき

CDまたはMP3の再生画面が表示されます。

アルバム番号*1

トラック番号、 経過時間
リピート/シャッフル再生
表示、ビットレート*1 *2



CD： ディスク名
トラック名
MP3： アルバム名
トラック名
ID3タグ

再生状態
(▶再生、||一時停止)
ディスク表示

*1 MP3再生時のみ表示します。

*2 VBR (Variable Bit Rate : 可変ビットレート) のMP3ファイル再生時は表示しません。

ご注意

ディスク名、アルバム名、トラック名、ID3タグは、アルファベットまたは数字のみ表示できます。それ以外の文字は「_」で表示されます。

次のページへつづく

JPEGのとき

ディスク内のJPEG画像をスライドショーとして表示します。

スライドショーの表示時間を換えたい場合は41ページをご覧ください。(お買い上げ時の設定は「10秒」です。)

←または→ボタンを押すごとに画像が90°回転します。

ご注意

- JPEGファイルは640×480 pixelのサイズで最適に表示します。それ以外のサイズでは、画像が正しく表示されなかったり、左右にずれて表示されることがあります。
- プログレッシブJPEGフォーマットの画像は表示できません。
- 大きいサイズの画像を回転させる場合は、表示に時間がかかることがあります。

ディスクが入っているときは

DVD▶▶ボタンを押すと再生が始まります。

止める/電源を切るには

OFFボタンを押します。

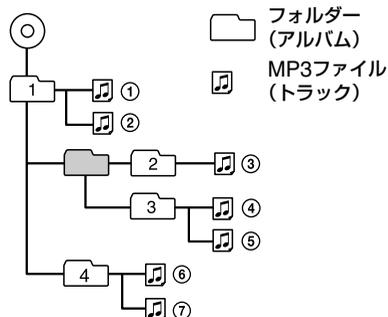
DVDのDTS音声再生時のご注意

DTS音声は常に出力されるので、DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときはスピーカーから大きな音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

DVDの音声レベルは、ディスクに記録されている音声方式ごとに設定することができます。(30ページ)

MP3ファイルの再生順序

フォルダーおよびMP3ファイルの再生順序は次のとおりです。



ご注意

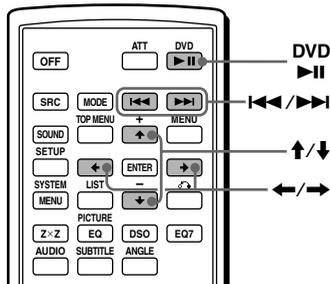
- MP3ファイルを記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては図の順序で再生されないことがあります。
- 本機は、ディスクに記録されたトラック1000曲および256番目のアルバムまで認識できません。それより後のトラックやアルバムは本機では再生できません。

ちょっと一言

- ディスクにトラックを記録するときは、あらかじめトラック名の頭に数字 (01、02、03など) を入れておくと、フォルダー内ではその数字の順番に再生することができます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第2階層までにすることをお勧めします。
- MP3について詳しくは、64ページをご覧ください。

いろいろな操作方法

DVD VCD CD MP3 JPEG



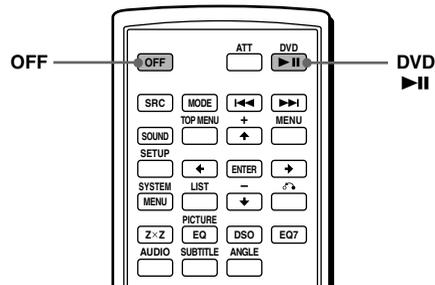
こんなときは	こうする
途中で止める	DVD▶▶ボタンを押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	DVD▶▶ボタンを押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	▶▶ (→) ボタンを押す
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	◀◀ (←) ボタンを押す
次のアルバムへ進める*	↑ (ALBM +) ボタンを押す
前のアルバムへ戻す*	↓ (ALBM -) ボタンを押す
ディスクを取り出す	本体のシャッターを下げ、▲ボタンを押す (14ページ)

* MP3/JPEG再生中のみ。

再生を止めたところから再生する (つづき再生機能) DVD VCD

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。

また、電源を切ったり、ディスクを取り出しても、20枚まで停止した場所を記憶し、つづき再生することができます。



1 ディスクの再生中にOFFボタンを押して再生を止める。

2 DVD▶▶ボタンを押す。

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

ディスクを最初から再生したいときは、つづき再生の設定 (41ページ) を「切」にした後、本体の▲ボタンを押して一度ディスクを取り出し、再びディスクを入れて再生を始めてください。

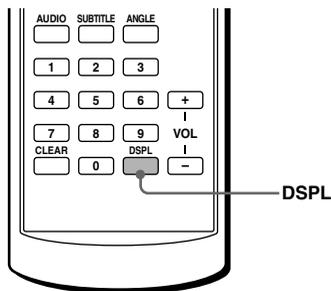
次のページへつづく

で注意

- つづき再生機能を使うには、設定画面の「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」にしておく必要があります。(41ページ)
- 21枚目以降は、1枚目の停止場所から順に記録を自動的に消去して、新しいディスクの停止場所を記録します。
- 視聴制限 (34ページ) が設定されているときは、つづき再生は機能しません。ディスクを本機に挿入した際は、ディスクの最初から再生を始めます。
- 視聴制限の設定を変えた場合、現在再生しているディスクについては、つづき再生が解除されます。
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。

ディスクの情報を見る **DVD VCD JPEG**

再生中のタイトルやチャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。また、タイトル名やチャプター名、ファイル名などの文字情報も表示します。



1 再生中にDSPLボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

経過時間または残り時間



文字情報*

* 文字情報が記録されていないときは「NO TEXT」と表示されます。

2 DSPLボタンを繰り返し押しして、時間表示を切り換える。

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

DVDのとき

- T ** : ** : **
タイトルの経過時間
- T - ** : ** : **
タイトルの残り時間
- C ** : ** : **
チャプターの経過時間
- C - ** : ** : **
チャプターの残り時間

ビデオCD (PBC再生中以外) のとき

- T ** : **
トラックの経過時間
- T - ** : **
トラックの残り時間
- D ** : **
ディスクの経過時間
- D - ** : **
ディスクの残り時間

JPEGのとき

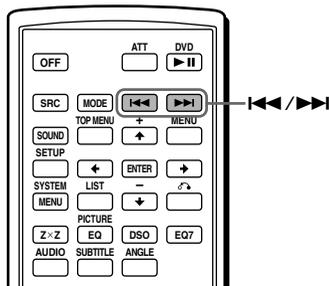
- アルバム番号
- イメージ番号

見たいところ、聞きたいところをさがす

DVD VCD CD MP3

(早送り/早戻し)

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがします。



再生中に▶▶ (早送り) または◀◀ (早戻し) ボタンを押し続ける。

押し続けると再生の速さが高速に変わります。

ボタンを離すと通常の再生に戻ります。

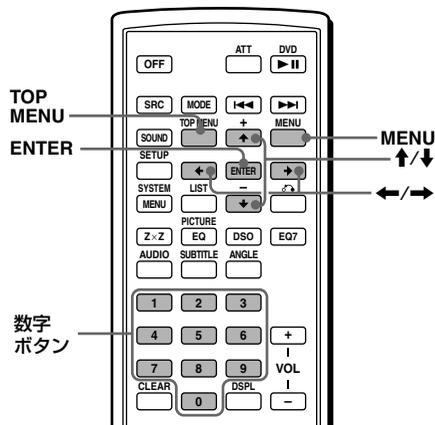
ご注意

早送り/早戻し再生中は、音声と字幕が出ません。

DVDのメニューを使う

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。

複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDはTOP MENUボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できるDVDはMENUボタンを使って再生できます。



1 TOP MENUボタンまたはMENUボタンを押す。

ディスクのメニューが表示されます。メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→ボタンまたは数字ボタンで項目を選び、ENTERボタンを押す。

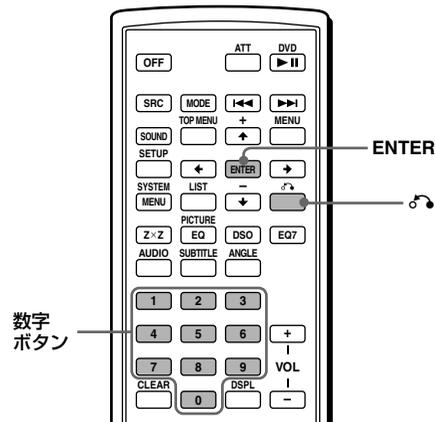
ご注意

メニューの種類や操作方法は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクに付属の説明書をご覧ください。

プレイバックコントロール機能を使う

(PBC再生)

モニターに表示される選択用のメニュー画面にしたがって、再生や検索ができます。
(Playback Control — PBC機能)



1 PBC対応のビデオCDを再生する。

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタンで選び、ENTERボタンを押す。

3 モニターに表示される選択用のメニュー画面に従って操作する。

選択用のメニュー画面に戻るには  (リターン) ボタンを押します。

PBC機能を使わないで再生するには

1 停止中に数字ボタンを押して再生したいトラックを選ぶ。

2 ENTERボタンを押す。

画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、通常の再生(トラック番号順に再生)が始まります。

このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。

ご注意

- メニューの種類や操作方法は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクに付属の説明書をご覧ください。
- PBC再生中は、プレイモードメニュー画面のトラック番号や経過時間は表示されません。

ちょっと一言

PBCを切って再生した後、再びPBC再生させるには、OFFボタンを押して再生を止めてからDVD▶▶ボタンを押してください。

再生モードを使う (リピート/シャッフル/頭出し)

再生モードには次の種類があります。

- リピート再生 (25ページ)
- シャッフル再生 (26ページ)
- 頭出し再生 (27ページ)

ご注意

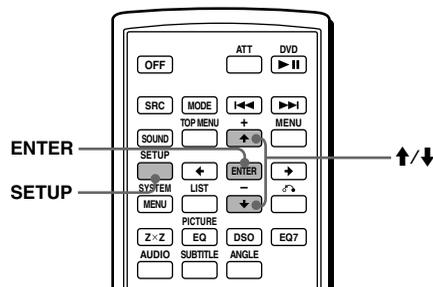
- ディスクを取り出したり、電源を切った場合には、設定した再生モードは解除されます。
- ビデオCDのPBC再生中は、リピート再生/シャッフル再生はできません。

繰り返し再生する(リピート再生)

DVD VCD CD MP3 JPEG

タイトル/チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

DVD/VCD/JPEG



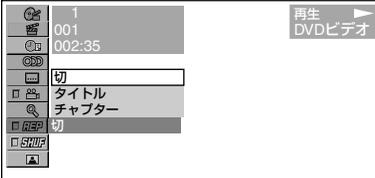
1 再生中にSETUPボタンを押す。

プレイモードメニュー画面が表示されません。

次のページへつづく

2 ↑または↓ボタンで **REP** (リピート) を選び、ENTERボタンを押す。

「リピート」の設定項目が表示されます。



3 ↑または↓ボタンを押してリピート再生する項目を選ぶ。

DVDのとき

- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

ビデオCDのとき

- トラック：再生中のトラック

JPEGのとき

- アルバム：再生中のアルバム内のすべてのイメージ
- イメージ：再生中のイメージ

4 ENTERボタンを押す。

リピート再生が始まります。

通常の再生に戻すには

手順3で「切」を選びます。

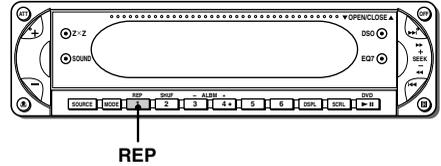
画面表示を消すには

SETUPボタンを押します。

ちょっと一言

本体のREPボタンを繰り返し押しても、リピート再生を設定することができます。

CD/MP3



再生中にREPボタンを繰り返し押す。

CDのとき

- REP-TRACK：再生中のトラック

MP3のとき

- REP-TRACK：再生中のトラック
- REP-ALBM：再生中のアルバム内のすべてのトラック

通常の再生に戻すには

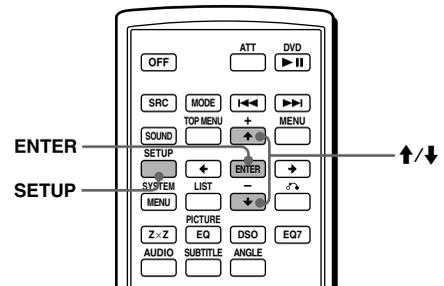
「REP-OFF」を選びます。

順不同再生する (シャッフル再生)

DVD VCD CD MP3 JPEG

チャプター/トラックの順番を変えて再生します。

DVD/VCD/JPEG

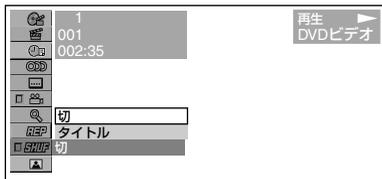


1 再生中にSETUPボタンを押す。

プレイモードメニュー画面が表示されます。

2 ↑または↓ボタンで **SHUF** (シャッフル) を選び、ENTERボタンを押す。

「シャッフル」の設定項目が表示されます。



3 ↑または↓ボタンを押してシャッフル再生する項目を選ぶ。

DVDのとき

— タイトル：再生中のタイトル内のすべてのチャプター

ビデオCDのとき

— ディスク：再生中のディスク内のすべてのトラック

JPEGのとき

— アルバム：再生中のアルバム内のすべてのイメージ
— ディスク：再生中のディスク内のすべてのイメージ

4 ENTERボタンを押す。

シャッフル再生が始まります。

通常の再生に戻すには

手順3で「切」を選びます。

画面表示を消すには

SETUPボタンを押します。

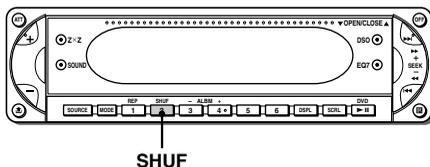
ご注意

- DVDのタイトルシャッフル再生中に▶▶▶ (早送り) または◀◀◀ (早戻し) ボタンを押すと、シャッフルの設定が解除されます。
- DVDのタイトルシャッフル再生終了後は、シャッフルの設定が解除されます。

ちょっと一言

本体のSHUFボタンを繰り返し押ししても、シャッフル再生を設定することができます。

CD/MP3



再生中にSHUFボタンを繰り返し押す。

CDのとき

— SHUF-DISC：再生中のディスク内のすべてのトラック

MP3のとき

— SHUF-ALBM：再生中のアルバム内のすべてのトラック
— SHUF-DISC：再生中のディスク内のすべてのトラック

通常の再生に戻すには

「SHUF-OFF」を選びます。

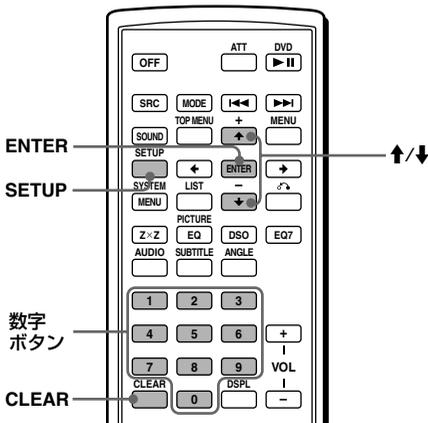
タイトル/チャプター/アルバム/トラック/イメージをさがす (頭出し再生)

DVD VCD CD MP3 JPEG

DVDのタイトル/チャプター/タイトルの経過時間、ビデオCDやCD、MP3のトラック、JPEGのアルバム/イメージで映像や曲をさがすことができます。

タイトルやトラックなどにはディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しをします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面をさがすこともできます。

次のページへつづく



DVD/VCD/JPEG

1 再生中にSETUPボタンを押す。

プレイモードメニュー画面が表示されます。

2 ↑または↓ボタンを押して検索項目を選ぶ。

カッコ内の数字はディスクに記録されているタイトルやトラックなどの総数です。

DVDのとき

タイトル チャプター
 時間/テキスト

タイムコードを入力して場面をさがすときは、「時間/テキスト」を選びます。

ビデオCDのとき

トラック

JPEGのとき

アルバム イメージ

3 ENTERボタンを押す。

4 数字ボタンでタイトルやトラックなどの番号を入力する。

たとえば、DVDのタイトル2をさがすには、手順2で「タイトル」を選んだあと「2」と入力します。

タイムコードで始まりから2時間10分20秒過ぎた場面をさがすには、手順2で「時間/テキスト」を選んだあと「2：10：20」と入力します。

間違えたときは

CLEARボタンを押して、入力し直します。

5 ENTERボタンを押す。

選んだ箇所の再生が始まります。

画面表示を消すには

SETUPボタンを押します。

CD/MP3

1 再生中に数字ボタンでトラック番号を入力する。

間違えたときは

CLEARボタンを押して、入力し直します。

2 ENTERボタンを押す。

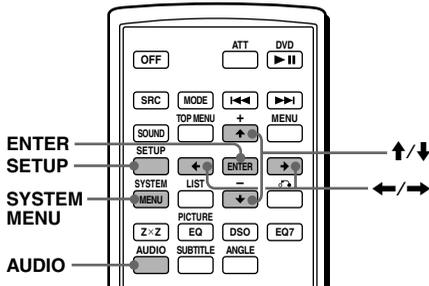
選んだトラックの再生が始まります。

音声を切り換える

DVD VCD

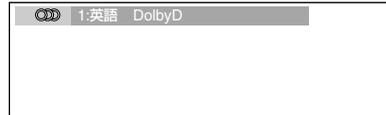
複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、PCMなど）で記録されたDVDビデオを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録されたDVDビデオでは、言語を選ぶこともできます。

また、ビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオCDなどでは伴奏だけを聞くこともできます。



再生中にAUDIOボタンを繰り返し押し、音声を選ぶ。

以下の画面が表示されます。



DVDのとき

選べる言語はDVDによって異なります。

4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（75ページ）を参照してください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

ビデオCDのとき

お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- ステレオ：通常ステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

ご注意

ディスクによっては、音声の切り換えができない場合があります。

ちょっと一言

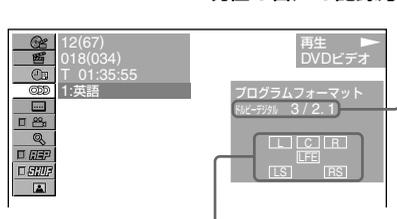
プレイモードメニューを使って音声を選ぶこともできます。（17～18ページ）

次のページへつづく

再生しているチャンネルを表示する

再生中にSETUPボタンを押してプレイモードメニュー画面を表示します。↑または↓ボタンを押して「音声」を選ぶと、現在再生中のDVDビデオに記録されているチャンネル数を表示することができます。

現在の音声の記録方式*



各記号は次のチャンネルを表しています。

- L : フロント (左)
- R : フロント (右)
- C : センター (モノラル)
- LS : リア (左)
- RS : リア (右)
- S : リア (モノラル) : ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
- LFE : LFE (Low Frequency Effect : 低音増強) 信号

* 「PCM」または「DTS」、「ドルビーデジタル」が表示されます。

「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。

ドルビーデジタル5.1chの場合：



ちょっと一言

ドルビーデジタルとDTSの場合、LFE (低音増強) 信号出力の有無にかかわらず、「LFE」は実線で表示されます。

出力レベルを設定する

DVDビデオは記録されている音声記録方式 (ドルビーデジタル、DTS、PCMなど) により出力レベルに差があります。ドルビーデジタル、DTS、PCMそれぞれの出力レベルを設定し、ディスクやソースによる音量差を低減させることができます。

- 1 SYSTEM MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、「DVD LVL」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 →ボタンを押して「ADJ-ON」にする。
- 5 ENTERボタンを押す。
- 6 ←または→ボタン繰り返し押して、「DOLBY」、「DTS」または「PCM」を選ぶ。
- 7 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、出力レベルを調節する。



- 8 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

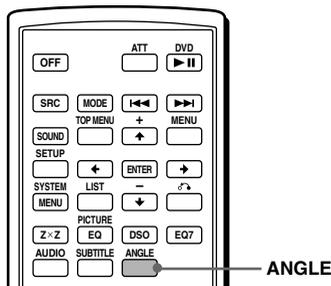
DVDの出力レベルを設定できるのは、ディスクが挿入されているときのみです。

ちょっと一言

出力レベルの調節可能範囲は±6dBです。

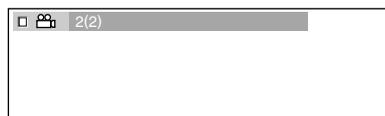
アングルを切り換える DVD

複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選ぶことができます。



再生中にANGLEボタンを繰り返し押し、アングル番号を選ぶ。

以下の画面が表示されます。



選んだアングルに切り換わります。

ご注意

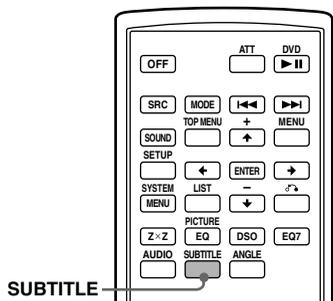
ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

ちょっと一言

プレイモードメニューを使ってアングルを選ぶこともできます。(17～18ページ)

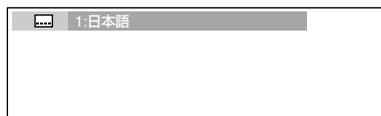
字幕を表示する DVD

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。



再生中にSUBTITLEボタンを繰り返し押し、言語を選ぶ。

以下の画面が表示されます。



選べる言語はディスクによって異なります。

4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」(75ページ)を参照してください。

字幕設定を解除するには

SUBTITLEボタンを繰り返し押し、「切」を選びます。

ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

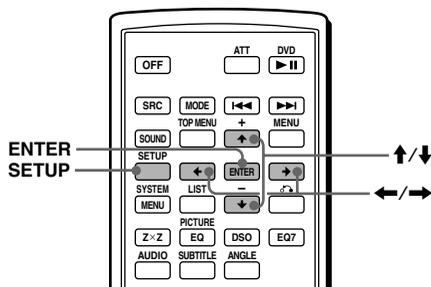
ちょっと一言

プレイモードメニューを使って字幕を選ぶこともできます。(17～18ページ)

拡大して表示する



画像を拡大して表示することができます。

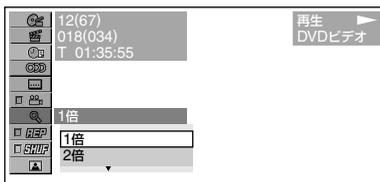


1 再生中にSETUPボタンを押す。

プレイモードメニュー画面が表示されま
す。

2 ↑または↓ボタンで (セン ターズーム) を選び、ENTERボタ ンを押す。

「センターズーム」の設定項目が表示さ
れます。



3 ↑または↓ボタンを押してズーム倍 率 (1倍、2倍、4倍) を選び、 ENTERボタンを押す。

もとの倍率に戻すには
手順3で「1倍」を選びます。

画面表示を消すには
SETUPボタンを押します。

拡大した画像を移動させるには
SETUPボタンを押して画面表示を消した
後、←/↑/↓/→ボタンを押すと画像の表示範
囲が移動します。

ご注意

つづき再生 (41ページ) をすると、画像は1倍表示
に戻ります。

ちょっと一言

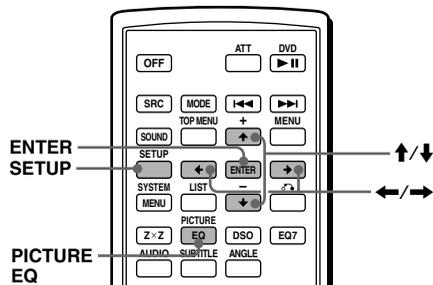
倍率を「2倍」、「4倍」にすると、画像が粗く見えま
す。

画質を切り換える

DVD VCD

車内の明るさに合わせて画質を選ぶことができます。

設定項目は車の照明のON/OFFにより異なります。「視聴設定」(41ページ)の「ピクチャーEQ」を「連動」に設定している場合、照明のON/OFFに合わせて自動で項目が切り換わります。



再生中にPICTURE EQボタンを繰り返し押しして、画質を選ぶ。

以下の画面が表示されます。



お買い上げ時の設定は下線の項目です。

- ノーマル : 標準的な画質です。
- Daytime*1 : 明るい昼間に使用するモードで、画面を明るくして見えやすくします。
- Sunset*1 : 周囲が少し暗くなったときに使用します。
- Shine*1 : 画面に光が当たるときなど、とても明るい場合に使用します。

- Night*2 : 夜間の運転に支障のないように、輝度をおさえた画質になります。
- Midnight*2 : Nightモードより、さらに輝度をおさえた画質になります。
- Theater*2 : 夜間に、明るい画面で映像を楽しみたいときに使用します。
- カスタム : お好みで設定した画質になります。(33ページ)

*1 「視聴設定」の「ピクチャーEQ」を「連動」にして照明をOFFにしているとき、または「ライトオフ」に設定しているときに表示されます。

*2 「視聴設定」の「ピクチャーEQ」を「連動」にして照明をONにしているとき、または「ライトオン」に設定しているときに表示されます。

ちょっと一言

プレイモードメニューを使って画質を選ぶこともできます。(17~18ページ)

お好みの画質を設定する

DVD VCD

お好みの画質を設定し、ピクチャーEQに登録することができます。

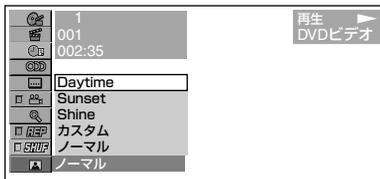
1 再生中にSETUPボタンを押す。

プレイモードメニュー画面が表示されず。

次のページへつづく

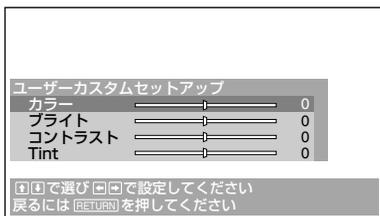
- 2 ↑または↓ボタンで  (ピクチャーEQ) を選び、ENTERボタンを押す。

「ピクチャーEQ」の設定項目が表示されます。



- 3 ↑または↓ボタンを押して「カスタム」を選び、ENTERボタンを押す。

- 4 ↑または↓ボタンを押して調整する項目を選び、←または→ボタンを押して調整する。



「Tint」とは色相のことです。

- 5 ENTERボタンを押す。

ちょっと一言

画質のカスタム設定は、ライトオフ、ライトオンそれぞれに登録できます。

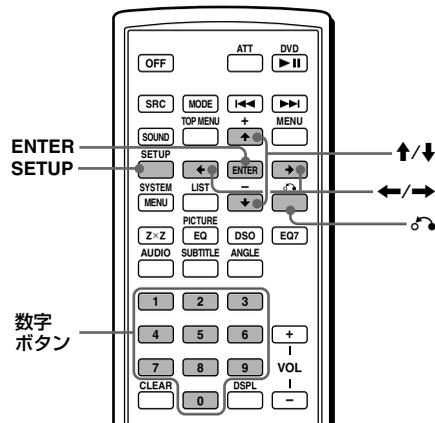
ディスクの再生を制限する (視聴制限)

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

暗証番号を登録して、視聴制限つきDVDの再生できるシーンを制限します。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

ご注意

視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。



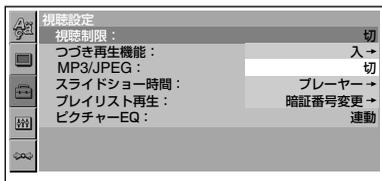
視聴制限を設定する

- 1 停止中にSETUPボタンを押す。

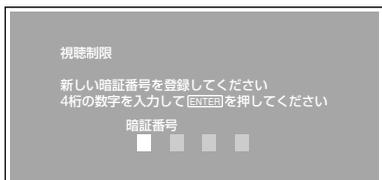
セットアップメニュー画面が表示されます。

- 2** ↑または↓ボタンで  (視聴設定) を選び、ENTERボタンを押す。
「視聴設定」の設定項目が表示されます。

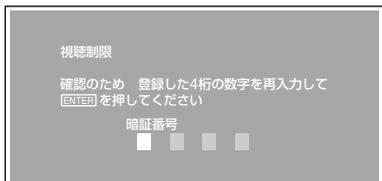
- 3** ↑または↓ボタンで「視聴制限」を選び、ENTERボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。



- 4** ↑または↓ボタンで「入 →」を選び、ENTERボタンを押す。
暗証番号登録の画面が表示されます。



- 5** 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す。
暗証番号確認の画面が表示されます。



- 6** 数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す。
「視聴制限を設定しました」とメッセージが表示されます。

視聴制限を解除する

- 1** 停止中にSETUPボタンを押す。
セットアップメニュー画面が表示されます。

- 2** ↑または↓ボタンで  (視聴設定) を選び、ENTERボタンを押す。
「視聴設定」の設定項目が表示されます。

- 3** ↑または↓ボタンで「視聴制限」を選び、ENTERボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

- 4** ↑または↓ボタンで「切 →」を選び、ENTERボタンを押す。
暗証番号入力画面が表示されます。



次のページへつづく

5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは
ENTERボタンを押す前に、←ボタンを
押して入力し直します。

「視聴制限を解除しました」とメッセー
ジが表示されます。

視聴制限レベルを変更する

1 停止中にSETUPボタンを押す。

セットアップメニュー画面が表示されま
す。

2 ↑または↓ボタンで (視聴設定) を選び、ENTERボタンを押す。

「視聴設定」の設定項目が表示されま
す。

3 ↑または↓ボタンで「視聴制限」を選 び、ENTERボタンを押す。

「視聴制限」の設定項目が表示されま
す。

4 ↑または↓ボタンで「プレーヤー→」 を選び、ENTERボタンを押す。

視聴制限が設定されていないとき
手順6に進みます。

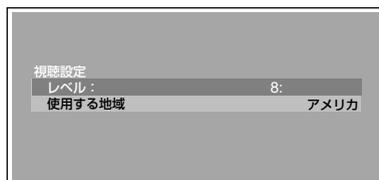
視聴制限がすでに設定されているとき
暗証番号入力画面が出ます。



5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、ENTERボタンを押す。

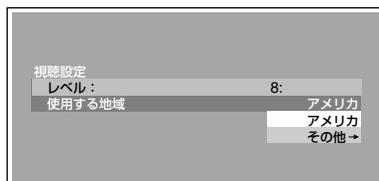
暗証番号を間違えたときは
ENTERボタンを押す前に、←ボタンを
押して入力し直します。

視聴制限のレベル設定変更の画面が表示
されます。



6 ↑または↓ボタンで「使用する地域」 を選び、ENTERボタンを押す。

「使用する地域」の選択項目が表示され
ます。



7 ↑または↓ボタンで視聴制限レベル の基準にする地域を選び、ENTER ボタンを押す。

地域が選ばれます。

「その他 →」を選んだときは、37ページ
の表から地域コードを選び、数字ボタン
で入力します。

8 ↑または↓ボタンで「レベル」を選び、ENTERボタンを押す。

「レベル」の選択項目が表示されます。



9 ↑または↓ボタンで制限するレベルを選び、ENTERボタンを押す。

視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

地域コード

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044	チリ	2090
イギリス	2184	デンマーク	2115
イタリア	2254	ドイツ	2109
インド	2248	日本	2276
インドネシア	2238	ニュージーランド	2390
オーストラリア	2047	ノルウェー	2379
オーストリア	2046	パキスタン	2427
オランダ	2376	フィリピン	2424
カナダ	2079	フィンランド	2165
韓国	2304	ブラジル	2070
シンガポール	2501	フランス	2174
スイス	2086	ベルギー	2057
スウェーデン	2499	ポルトガル	2436
スペイン	2149	マレーシア	2363
タイ	2528	メキシコ	2362
中国	2092	ロシア	2489

暗証番号を変更する

1 停止中にSETUPボタンを押す。
セットアップメニュー画面が表示されま
す。

2 ↑または↓ボタンで  (視聴設定)
を選び、ENTERボタンを押す。
「視聴設定」の設定項目が表示されま
す。

3 ↑または↓ボタンで「視聴制限」を選
び、ENTERボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されま
す。

4 ↑または↓ボタンで「暗証番号変更
→」を選び、ENTERボタンを押
す。
暗証番号入力画面が表示されます。

5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力
し、ENTERボタンを押す。
暗証番号を間違えたときは
ENTERボタンを押す前に、←ボタンを
押して入力し直します。

6 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号
を入力し、ENTERボタンを押す。

7 数字ボタンでもう一度暗証番号を入
力し、ENTERボタンを押す。

1つ前の画面に戻るときは
⏪ (リターン) ボタンを押します。

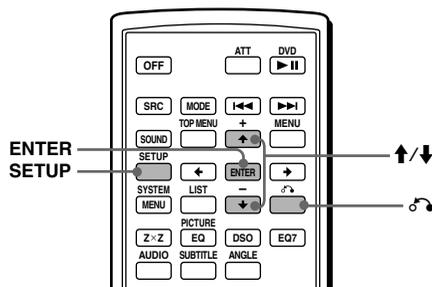
画面表示を消すには
SETUPボタンを押します。

セットアップメニューを使う

セットアップメニューを使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、39～42ページをご覧ください。

ご注意

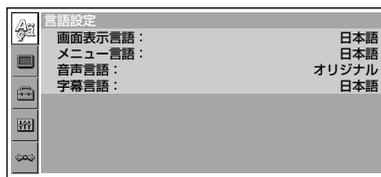
あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。



例) モニタータイプを「4：3パンスキャン」に設定する

1 停止中にSETUPボタンを押す。

セットアップメニュー画面が表示されます。



2 ↑または↓ボタンで設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。



3 ↑または↓ボタンでさらに設定項目を選び、ENTERボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。



4 ↑または↓ボタンで設定内容を選び、ENTERボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。



1つ前の手順に戻るには

⏪ (リターン) ボタンを押します。

画面表示を消すには

SETUPボタンを押します。

お買い上げ時の設定に戻すには

- 1 手順2で  (設定のリセット) を選び、ENTERボタンを押す。
- 2 ↑ボタンを押して「はい」を選び、ENTERボタンを押す。
すべての設定をリセットするまで数秒かかります。リセット中は電源を切らないでください。
「いいえ」を選んでENTERボタンを押すと、セットアップメニュー画面に戻ります。

ちょっと一言

リセットしても「視聴制限」の設定 (34ページ) は変更されません。

表示言語や音声言語の設定 (言語設定)

画面や音声の言語を設定します。
セットアップメニュー画面で「 (言語設定)」を選びます。(「セットアップメニューを使う」38ページ)

画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

メニュー言語

ディスクのメニューの言語を切り換えます。

音声言語

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

字幕言語

字幕の言語を切り換えます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ご注意

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

ちょっと一言

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他→」を選んだときは、「言語コード一覧表」(75ページ) から言語コードを選び、数字ボタンで入力します。

画像に関する設定

(画面設定)

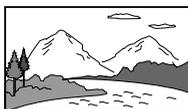
接続するモニターに合わせて設定します。
セットアップメニュー画面で「画面設定」を選びます。(「セットアップメニューを使う」38ページ)
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

モニタータイプ

接続するモニターの画面の種類(ワイドまたは従来 $4:3$ 画面)を設定します。

16:9	ワイドまたは、ワイドモードのあるモニターとつなぐとき
4:3 レターボックス	4:3画面のモニターとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3 パンスキャン	4:3画面のモニターとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてモニター画面全体に表示する

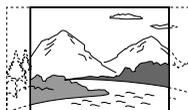
16:9



4:3 レターボックス



4:3 パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

スクリーンセーバー

再生/受信を停止したままで5分以上操作しないと、スクリーンセーバーの画面に切り換わるように設定します。画像の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。DVD▶▶ボタンを押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使う
切	スクリーンセーバーを使わない

視聴に関する設定

(視聴設定)

再生するときの視聴に関する設定を再生などの条件に合わせて設定します。

セットアップメニュー画面で「 (視聴設定)」を選びます。(「セットアップメニューを使う」38ページ)

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

視聴制限 (34ページ)

入 →	「視聴制限」を設定する
切 →	「視聴制限」を解除する
プレーヤー →	「視聴制限」のレベルを設定する
暗証番号変更 →	暗証番号を変更する

つづき再生機能 (21ページ)

つづき再生を設定します。設定すると20枚のディスクまでつづき再生を本機に記録することができます。

入	20枚のディスクまでつづき再生を記録する(「切」に設定しても、記録は消去されません)
切	本機にディスクを入れたままのときを除き、つづき再生を記録しない

ご注意

視聴制限が設定されているときは、つづき再生は機能しません。ディスクを本機に挿入した際は、ディスクの最初から再生を始めます。

MP3/JPEG

1枚のディスクに、MP3ファイルとJPEG画像の両方が記録されている場合は、片方のみを再生します。どちらを再生するかを設定します。

MP3	MP3ファイルを再生する
JPEG	JPEG画像を再生する

スライドショー時間

スライドショーの切り換え時間を設定します。

5秒	画像を5秒ごとに切り換える
10秒	画像を10秒ごとに切り換える
20秒	画像を20秒ごとに切り換える
40秒	画像を40秒ごとに切り換える
60秒	画像を60秒ごとに切り換える
エンドレス	画像を切り換えない

プレイリスト再生

プレイリストが記録されているDVD-RW (VRモード) を再生するとき、オリジナル映像と編集されたプレイリスト映像のどちらを再生するかを設定します。

オリジナル	ディスクに記録されている映像をそのまま再生する
プレイリスト	ディスクのオリジナルタイトルから編集した映像を、作成したプレイリストの順に再生する

ご注意

- プレイリスト再生は、DVD-RWにVRモードで記録されている場合のみ機能します。
- プレイリストが作成されていないディスクでは、オリジナル映像が再生されます。

ピクチャーEQ (33ページ)

画質を調節するときの選択項目を設定します。

連動	車の照明に連動して画質の選択項目が換わる(車の照明電源に接続されている場合のみ)
ライトオフ	車の照明に関係なく昼間用の画質を選択する
ライトオン	車の照明に関係なく夜間用の画質を選択する

音声に関する設定

(オーディオ設定)

AUDIO OUT端子からの出力される音声を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

セットアップメニュー画面で「 (オーディオ設定)」を選びます。(「セットアップメニューを使う」38ページ)

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

オーディオDRC (Dynamic Range Control)

DVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオDRCに対応のDVDにのみ効果があります。

スタンダード	通常はこの設定にする
--------	------------

ワイドレンジ	迫力のある音になる
--------	-----------

ダウンミックス

リアスピーカーの音声成分 (チャンネル) を含むドルビーデジタルまたはDTS方式で記録されているDVDを2チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分 (チャンネル) については「再生しているチャンネルを表示する」(30ページ) をご覧ください。

サラウンド	ドルビーサラウンド (プロロジック) 対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
-------	---

ノーマル	ドルビーサラウンド (プロロジック) に対応していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
------	--

ドルビーデジタル

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
----------	-------------------------------------

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「ダウンミックス」の設定によって決まる
----------------	---

DTS

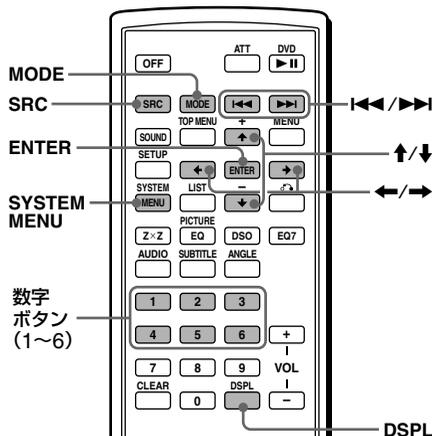
DTS信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

入	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
---	--------------------------------

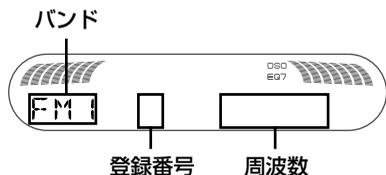
切	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
---	-------------------------------------

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



1 SRC (SOURCE) ボタンを押してラジオ受信にする。



2 MODEボタンを繰り返し押して、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1 → …

3 SYSTEM MENUボタンを押す。

4 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、「BTM」を選ぶ。

5 ENTERボタンを押す。



「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示し、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終わると、通常の画面が表示されます。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタンの1~6を押して、聞きたい放送局を選びます。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されている場合は、それ以降の番号に放送局が登録されます。

次のページへつづく

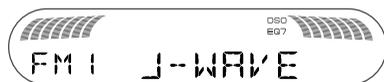
表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。

周波数



放送局名*



- * 名前がついていないときは、「NO NAME」と表示されます。
名前の登録のしかたについては、53ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないとき

ラジオ受信中に◀◀または▶▶ボタンを押します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局を受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで◀◀または▶▶ボタンを押し続けます。聞きたい放送局の周波数に近づいたところで一度離し、さらに繰り返し短く押すと0.1MHz（または9kHz）ごとに送れます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中に、SYSTEM MENUボタンを押す。
 - 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、**「LOCAL」**を選ぶ。
 - 3 ➡ボタンを押して**「LOCAL-ON」**を選び、ENTERボタンを押す。

放送局を探している間は「L.SEEK +/-」と表示されます。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「LOCAL-OFF」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、SYSTEM MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、**「MONO」**を選ぶ。
- 3 ➡ボタンを押して**「MONO-ON」**を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「MONO-OFF」を選びます。

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO-OFF」にすると聞きやすくなります。（47ページ）

FM放送の混信を自動的に軽減する (IF AUTO)

受信している周波数の近くに他の放送局があると、混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。本機では、受信する周波数帯域幅を狭めたり、モノラル音声にすることで、自動的に放送を聞きやすくしています (IF AUTOモード)。

ステレオ放送を常にステレオ音声で聞く場合は、「IF WIDE」モードに変更してください。

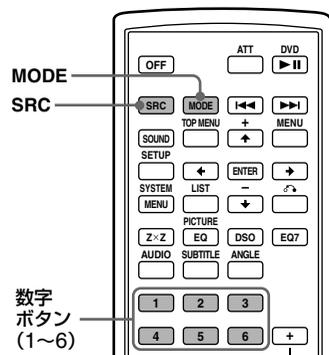
- 1 FM受信中に、SYSTEM MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、「IF AUTO」を選ぶ。
- 3 →ボタンを押して「IF WIDE」を選び、ENTERボタンを押す。

ご注意

「IF WIDE」で雑音が入り聞きにくい場合は、「IF AUTO」に戻してください。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



- 1 SRC (SOURCE) ボタンを押してラジオ受信にする。

- 2 MODEボタンを繰り返し押し、登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 →
FM1 → …

- 3 登録したい放送局を受信する。(13ページ)

次のページへつづく

- 4 登録したい数字ボタン(1~6)を「MEM」が表示されるまで押し続ける。



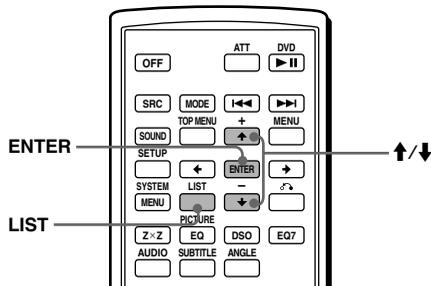
選んだ番号に受信している放送局が登録されます。

ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

放送局を名前で探す (リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。名前の登録のしかたは、53ページをご覧ください。



- 1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、聞きたい放送局を選ぶ。

- 3 ENTERボタンを押す。

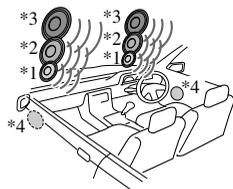
選局が終わると通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

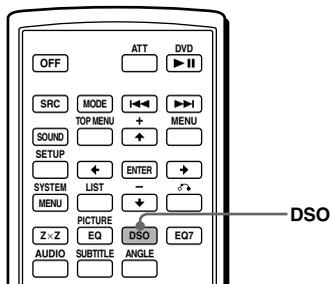
- 選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名は点滅して表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設置されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO（ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー）機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー（バーチャルスピーカー）があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



- *1 DSO-1
- *2 DSO-2
- *3 DSO-3
- *4 DSO-OFF



- 1 設定するソース（DVD、CD、MD、ラジオまたはAUX）を再生/受信する。

- 2 DSOボタンを繰り返し押し、DSOモードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

DSO-1 → DSO-2 → DSO-3 →
DSO-OFF → DSO-1 → …



約3秒後に、通常の画面が表示されません。

DSOを解除するには

手順2で「DSO-OFF」を選びます。

ご注意

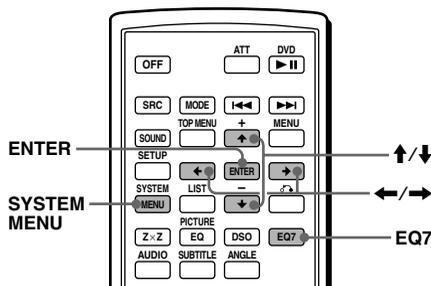
3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「DSO-OFF」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに記憶されます。

イコライザーを使う (EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



イコライザーカーブを選ぶ

1 設定するソース (DVD、CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。

2 EQ7ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

XPLOD → VOCAL → CLUB → JAZZ → NEW AGE → ROCK → CUSTOM → OFF → XPLOD → …



約3秒後に、通常の画面が表示されません。

イコライザーを解除するには

手順2で「OFF」を選びます。

ちょっと一言

イコライザー設定は各ソースごとに記憶されます。

好きなイコライザーカーブを登録する

1 設定するソース (DVD、CD、MD、ラジオまたはAUX) を再生/受信する。

2 SYSTEM MENUボタンを押す。

3 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、**「EQ7 TUNE」**を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

5 ←または→ボタンを繰り返し押し、イコライザーカーブを選ぶ。

6 ENTERボタンを押す。

7 ←または→ボタンを繰り返し押し、周波数を選ぶ。

押すごとに、周波数は次のように切り換わります。

62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔ 1kHz ↔ 2.5kHz ↔ 6.3kHz ↔ 16kHz

8 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、レベルを調節する。

レベルの調節可能範囲は±10dBです。

手順7と8を繰り返し、イコライザーカーブを調節します。

9 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

各プリセットを初期設定（工場出荷状態）にするには

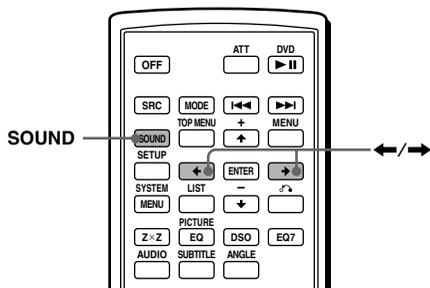
手順7または8でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

ご注意

手順5で「OFF」を選ぶと、イコライザーカーブの調節はできません。

音質や音のバランスを設定する

（バス・トレブル・バランス・フェーダー・サブウーファー）



1 ソース（DVD、CD、MD、ラジオまたはAUX）を再生/受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押し、サウンドの項目を選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。

BAS → TRE → BAL → FAD →
SUB → 通常画面 → BAS → …

バランス（BAL）の設定表示



BAS：低音の音質

TRE：高音の音質

BAL：左右のスピーカーバランス

FAD：前後のスピーカーバランス

SUB：サブウーファーの出力レベル

3 ←または→ボタンを繰り返し押し、設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ご注意

3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。

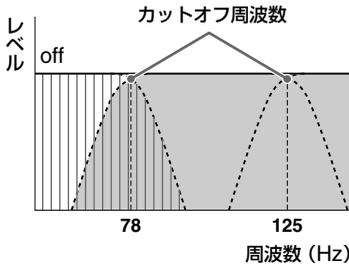
ちょっと一言

手順3は、本体のボリューム+/-ボタンでも操作できます。

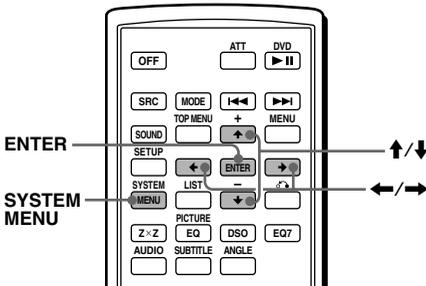
スピーカーのカットオフ周波数を選ぶ (HPF・LPF)

サブウーファーを接続した場合、スピーカーとサブウーファーの音域が連携するようにカットオフ周波数を調節します。

例：「78Hz」を選んだ場合



- ：スピーカーの音域
- ▨：サブウーファーの音域



- 1 ソース (DVD、CD、MD、ラジオ またはAUX) を再生/受信する。
- 2 SYSTEM MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、「HPF」または「LPF」を選ぶ。

- 4 ←または→ボタンを繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。

押すごとに、周波数は次のように切り換わります。

HPF：

OFF (初期値) ↔ 78Hz ↔ 125Hz

LPF：

78Hz ↔ 125Hz ↔ OFF (初期値)

- 6 ENTERボタンを押す。

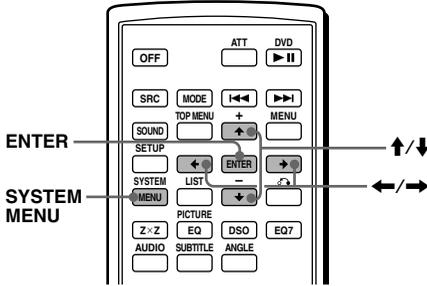
通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「HPF」と「LPF」は同じ周波数を選んでください。
- HPFはサブウーファーを接続してなくても調節することができます。その場合は低い周波数成分がカットされます。

音や表示などの設定を換える

さまざまな設定がメニュー画面で換えられます。



1 SYSTEM MENUボタンを押す。

2 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、設定したい項目を選ぶ。

3 ←または→ボタンを押して、設定を調節する。

(例：「ON」または「OFF」)

4 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

SET (Setup) メニュー

設定の種類	設定内容
CLOCK-ADJ	時計の設定。(10ページ)
BEEP	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。
RM	ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。 NORM : 初期設定の回転方向。 REV : 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

AUX-A*1 SRC (SOURCE) ボタンを押したときの「AUX」の表示の有無を設定する。

DSPL (Display) メニュー

設定の種類	設定内容
CLOCK	再生/受信中に常に時計を表示する。
DIM	表示窓の減光を設定する。 AT : 車の照明を「ON」にすると表示が減光する。(車の照明電源に接続されている場合のみ) ON : 車の照明に関係なく表示が減光する。 OFF : 車の照明に関係なく表示が減光しない。

CONTRAST フロントパネル表示窓のコントラストを調節する。(全7段階)

[次のページへつづく](#)

M.DSPL*2	<p>モーションディスプレイの設定をする。</p> <p>SA : デコレーションパターンとスペクトラムアナライザーを表示する。</p> <p>ON : デコレーションパターンのみ表示する。</p> <p>OFF : デコレーションパターンとスペクトラムアナライザーを表示しない。</p>
----------	--

DEMO*3	再生/受信の停止中にデモを表示する。
--------	--------------------

A.SCRL	CD TEXT、MP3またはMDの表示を自動的にスクロールさせる。
--------	-----------------------------------

P/M (Play Mode) メニュー

設定の種類	設定内容
LOCAL	電波の強い放送局を受信する。(44ページ)
MONO	ステレオFM放送をモノラルにする。(44ページ)
IF AUTO/ WIDE	FM受信の周波数帯域を自動的に調節する。(45ページ)

SND (Sound) メニュー

設定の種類	設定内容
EQ7 TUNE	イコライザーカーブを調節する。(48ページ)
HPF	フロント/リアスピーカーのカットオフ周波数を選ぶ。(50ページ)

LPF	サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ。(50ページ)
-----	-----------------------------

LOUD	音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくする。
------	---------------------------------

DVD LVL*4	DVDの音声記録方式ごとの音声出力レベルを設定する。(30ページ)
-----------	-----------------------------------

AUX LVL*5	AUX IN (外部音声入力) に接続した機器の出力レベルを設定する。(58ページ)
-----------	--

EDITメニュー

設定の種類	設定内容
NAMEEDIT	ディスク/放送局に名前をつける。(53ページ)
NAME DEL	ディスク/放送局の名前を消去する。(54ページ)
BTM	放送局を自動で登録する。(43ページ)

*1 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続していないときにOFFボタンを押して、時計表示にしているときのみ設定することができます。

*2 ソースの再生/受信中のみ表示します。

*3 再生/受信の停止中のみ表示します。

*4 ディスクが再生されているときのみ表示します。

*5 ソースがAUXの場合のみ表示します。

で注意

表示項目は選択されているソースにより異なります。

ちょっと一言

↑または↓ボタンを2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリーがスキップします。

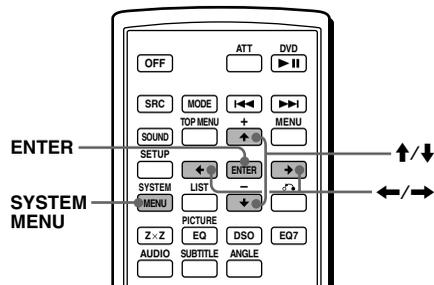
ディスク/放送局に名前をつける

(カスタムファイルーディスクメモ・ステーションメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモやリスト機能を楽しむことができます。

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



名前をつける

- 1 名前をつけたいCDまたは放送局を再生/受信する。
- 2 SYSTEM MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「NAMEEDIT」を選ぶ。

- 4 ENTERボタンを押す。



- 5 ↑または↓ボタンを繰り返し押して入力する文字を選び、→ボタンを押して次の文字に移動させる。

スペースを入れたいときは、続けて→ボタンを押します。

- 6 手順5を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモやリスト機能进行操作することはできません。

ちょっと一言

- 手順5で↑または↓ボタンを押すごとに
A ↔ B ↔ ... Z ↔ 0 ↔ 1 ↔ ... 9 ↔ +
↔ - ↔ * ↔ / ↔ \ ↔ > ↔ < ↔ . ↔ _ (スペース) ↔ A
と換わります。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは、←ボタンを押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

その他の操作

次のページへつづく

名前を消去する

- 1 名前を消去したいCDが入った機器を再生中、またはラジオの受信中に、SYSTEM MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、**「NAME DEL」**を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 ↑または↓ボタンを繰り返し押し、消去するディスク名または放送局名を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択したディスク名または放送局名が消去されます。

ほかのディスク名または放送局名を消すときは手順4、5を繰り返します。

- 6 SYSTEM MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

ディスク名の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

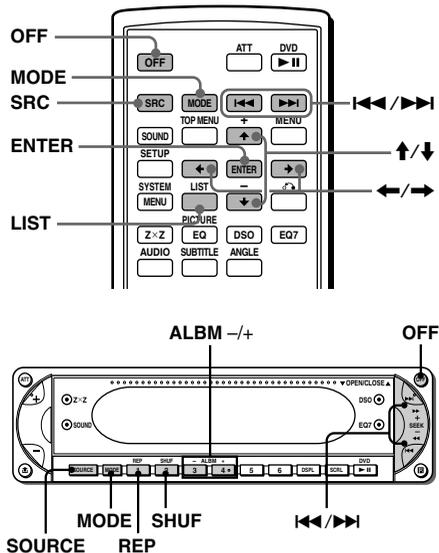
ちょっと一言

- CD TEXTの入ったディスク名を消去すると、もとのCD TEXTの情報が表示されます。
- 「名前をつける」の手順5で、すべての文字に「_」（スペース）を入力して名前を消すこともできます。
- 名前がすべて消去されている場合は「NO DATA」と表示されたあと、通常の画面に戻ります。

別売りの機器をつなぐ

CD/MDチェンジャーを聞く

本機は、別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続して操作することができます。



- 1 SRC (SOURCE) ボタンを繰り返し押し、**「CDC1」**または**「MDC1」**を選ぶ。

CD/MDチェンジャー
ユニット番号



- 2 MODEボタンを繰り返し押し、**CD/MDチェンジャー**を選ぶ。

再生をやめるには

SRC (SOURCE) ボタンを押して別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、同じチェンジャー内の次のディスクを再生します。

スキップ操作

種類	操作
ディスク	チェンジャーを再生中に ↑ または ↓ ボタンを短く押す。
アルバム*	再生中に ↑ (ALBM +) または ↓ (ALBM -) ボタンを押し続けて、聞きたいところで離す。 (1秒以内に再びボタンを短く押すと、1つずつ送れます。)
曲	再生中に → (▶▶▶) または ← (◀◀◀) ボタンを短く押す。
曲中の聞きたいところ	再生中に → (▶▶▶) または ← (◀◀◀) ボタンを押し続けて、聞きたいところで離す。

* MP3再生時のみ動作します。

本体でディスクを再生している場合の操作については、21ページをご覧ください。

次のページへつづく

繰り返し聞く (リピート再生)

再生中に本体のREPボタンを繰り返し押しします。

表示	機能
REP-TRACK	再生中の曲を繰り返す。
REP-ALBM*	再生中のアルバム内の全曲を繰り返す。
REP-DISC	再生中のディスク内の全曲を繰り返す。
REP-OFF	リピート再生しない。

* MP3再生時のみ表示されます。

曲順を変えて聞く (シャッフル再生)

再生中に本体のSHUFボタンを繰り返し押しします。

表示	機能
SHUF-ALBM*	再生中のアルバム内の全曲を順不同に再生する。
SHUF-DISC	再生中のディスク内の全曲を順不同に再生する。
SHUF-CHGR	再生中のチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生する。
SHUF-OFF	シャッフル再生しない。

* MP3再生時のみ表示されます。

ちょっと一言

「SHUF-CHGR」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

ディスクを名前を探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3を再生する場合*
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* ディスクメモ機能 (53ページ) で名前をつけてからこの機能をお使いください。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。

2 ↑または↓ボタンを繰り返し押して、聞きたいディスクを選ぶ。

3 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

ご注意

CD TEXTで、記録されている文字数が極端に多い場合は、すべての文字を表示しないことがあります。

ちょっと一言

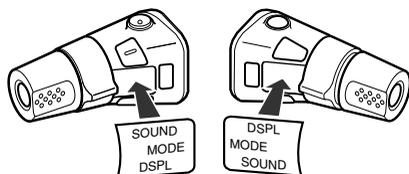
- 選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在再生中のディスク名は点滅して表示されず。

ロータリーコマンドーを使う

本機はロータリーコマンドー (RM-X4S) で操作できます。

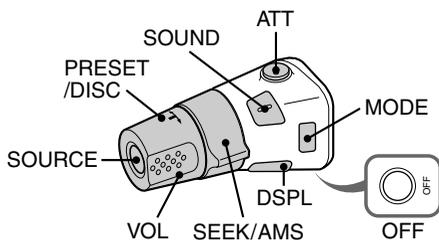
シールを貼る

ロータリーコマンドーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



各部の名まえ

本体やカードリモコンと同じ名称のボタンは、本体/カードリモコンと同じ働きをします。



SEEK/AMSつまみ



ラジオ：

自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

DVD/CD/MD：

チャプターや映像、曲の頭出しをする
つまみを離してから2秒以内に再び回し続けると、連続してチャプター/映像/曲がスキップします。

回し続けると早送り/早戻しになり、離すと再生に戻ります。

VOLつまみ



押しながら回すと



FM/AM：

登録した放送局を順に受信する

CD (MP3、JPEG再生時のみ)：

アルバムを切り換える
つまみを戻してから2秒以内に再び押しながら回すと、連続して切り換わります。

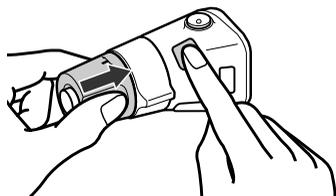
CD/MDチェンジャー：

ディスクを切り換える
アルバムを選ぶには、押しながら回し続けます。一度離してから2秒以内に再びつまみを短く回すと、1つずつ送れます。

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。

つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。



VOLつまみを押しながら、「RM NORM」または「RM REV」が表示されるまでSOUNDボタンを押し続けます。

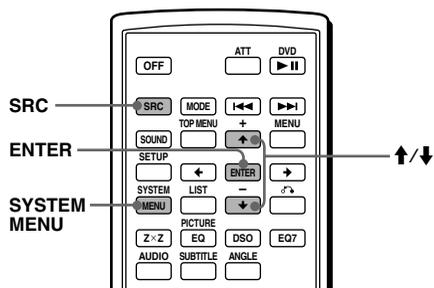
表示	設定
RM NORM	初期設定の回転方向
RM REV	運転席の右側に取り付けたときの回転方向

ちょっと一言

つまみの操作方向は「音や表示などの設定を換える」でも切り換えることができます。(51ページ)

ポータブル機器の音声を聞く (AUX)

本機のバス音声入力 (BUS AUDIO IN) 端子は、外部音声入力 (AUX IN) 端子も兼ねています。別売りのCD/MDチェンジャーを接続する代わりに、別売りのDVDプレーヤーやオーディオプレーヤーなどのポータブル機器を接続し、その音声を車のスピーカーから聞くことができます。



ソースを設定する

SRC (SOURCE) ボタンを繰り返し押し続けて「AUX」を選ぶ。



出力レベルを調節する

- 1 ソースが「AUX」のときに、SYSTEM MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓ボタンを繰り返し押し続けて、「AUX LVL」を選ぶ。
- 3 ENTERボタンを押す。

4 ↑または↓ボタンを繰り返し押し
て、接続した機器に合わせて出力レ
ベルを調節する。

5 ENTERボタンを押す。
通常の画面が表示されます。

ご注意

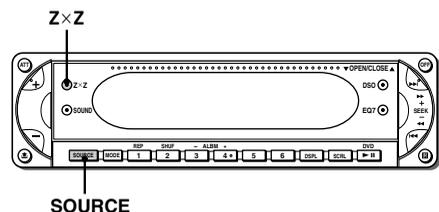
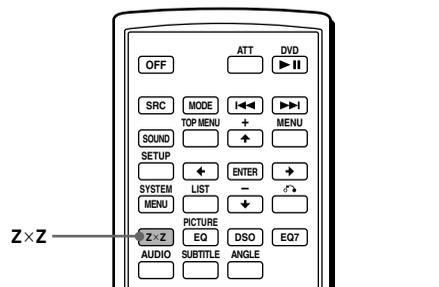
- ポータブル機器を接続した場合は、BUS CONTROL IN端子には何も接続しないでください。接続していると、SRC (SOURCE) ボタンを繰り返し押ししても「AUX」に切り換わりません。
- 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続すると、ポータブル機器は接続できません。ポータブル機器とCD/MDチェンジャーを同時に使う場合は、外部入力セレクターをお使いください。
- ソースが「AUX」時に音量を上げ過ぎると、他のソースに切り換えたととき思わぬ大音量になることがあります。

ちょっと一言

- 本機に接続した機器によって音量調節は異なります。
- 出力レベルの調節可能範囲は±6dBです。

フロントとリアの出力を換える (ZONE×ZONE)

DVDの映像/音声をリアモニターに出力し、フロント側には別のソースを出力します。リア座席でDVDを見ているときでも、フロント座席でラジオや音楽を聞くことができま



1 Z×Zボタンを押す。

2 本体のSOURCEボタンを押して、
フロント側のソースを切り換える。

フロント側は本体のボタンで操作し、リア側 (DVD) はカードリモコンで操作します。

もとの状態に戻すには
Z×Zボタンを押します。

ご注意

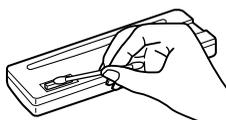
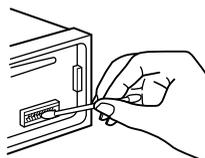
- ZONE×ZONEの動作中は、カードリモコンの以下のボタンは操作できません。
 - ATT
 - SRC (SOURCE)
 - MODE
 - SOUND
 - SYSTEM MENU
 - LIST
 - EQ7
 - DSO
 - VOL +/-
- ディスクを取り出ししても、ZONE×ZONE機能は解除されません。再度ディスクを挿入すると、ZONE×ZONEのまま再生を始めます。

使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクタのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクタが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクタを変形させないように注意してください。

液晶表示について

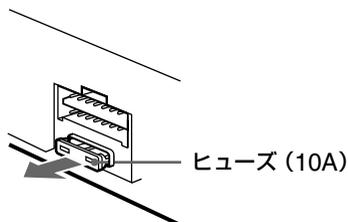
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量を超えるヒューズや針金で代用すると故障の原因となります。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、本機が動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

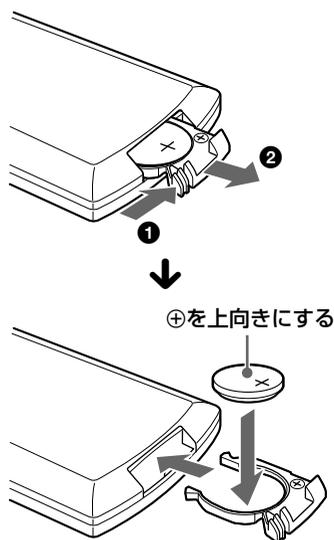
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくこと結露が取り除かれ正常に戻ります。

次のページへつづく

カードリモコンの電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

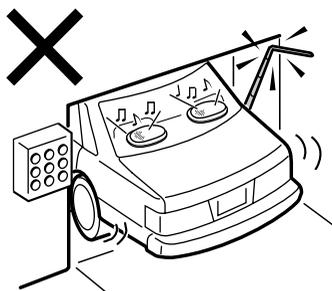
カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

その他のご注意

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



ディスクの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



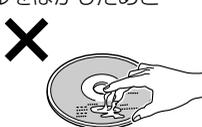
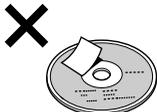
記録面に触れないように持つ。



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクを傷めることがあります。

- 中古やレンタルディスクでシールなどのりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。また、ラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルディスクでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音とびがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

8cmディスクについて

本機では、8cmディスクの再生はできません。8cmディスクアダプターも故障の原因となりますので、使用しないでください。

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



特に夏季、直射日光下で

閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

再生する前に、記録面に付いたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



[次のページへつづく](#)

MP3について

MP3 (MPEG1 Audio Layer3の略) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すると、もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。人間の聴覚特性に基づいて、聴きとることのできない音声、不可聴帯域を圧縮しています。

使用できるフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- CD
 - ISO9660のレベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠
 - マルチセッションで記録したディスク
- DVD
 - UDFブリッジ (ISO9660とUDFの両方に対応したフォーマット)
- ID3タグ：ver. 1.0、1.1、2.2、2.3、2.4
- 最大フォルダー (アルバム) 数：256 (ルートフォルダー、ファイルの入っていないフォルダーを含む)
- 最大ファイル (トラック) 数：1000
- 最大アルバム (フォルダー) 名：128文字
- 最大ID3タグ：126文字

ご注意

- ファイナライズ処理をしたディスクを再生してください。
- ファイルに名前をつけるときは、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を付けてください。
- マルチポーター (マルチセッション) で記録したDVDには対応していません。
- サンプルレートの44.1kHzまたは48kHz、ビットレートが64kbps～320kbps以外で記録したMP3は再生できません。

マルチセッションで記録したディスクを再生する場合のご注意

マルチセッションで記録したディスクでは、すべてのデータが再生されないことがあります。

- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータの場合：
最初のセッションのオーディオCDデータのみ通常に再生し、その他のデータはとばします。
2番目以降のセッションのデータは、すべてとばします。
- 最初のセッションの1番目のトラックが、オーディオCDデータでない場合：
 - ディスク内にMP3ファイルがあれば、MP3のみ再生し、オーディオCDデータを含むその他のデータはとばします。
 - ディスク内にMP3ファイルがなければ、オーディオCDデータを含むすべてのデータが再生されません。

あなたが [放送やレコード、録音物、録画物、実演などを] 録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置	
電源	電源が入らない。 電源がOFFにならない。	<ul style="list-style-type: none">電源コードが正しく接続されていない。イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SRC (SOURCE) ボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。 <p>イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを押し続けてください。</p>
	映像	映像が出ない。 映像が乱れる。
		セットアップメニューにある「画面設定」の「モニタータイプ」で設定した画像の形で再生できない。

[次のページへつづく](#)

症状	原因・処置
<p>音が出ない。 音が途切れる。 音が割れる。</p> <p>音声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続コードが正しく接続されていない。 ● 機器の接続を確認し、機器の入力を本機の音声が出るように切り換える。 ● ディスクに汚れや傷がある。 ● 本機の取り付け角度が45°を超えている。 ● 本機が正しく固定されていない。 ● 保存状態によりCD-R/-RWが劣化している。 ● サンプルレートが44.1kHzまたは48kHz以外で記録されているMP3ファイルを再生している。 ● ビットレートが64kbps～320kbps以外で記録されているMP3ファイルを再生している。 ● 一時停止になっている。 ● 早送りまたは早戻しになっている。 ● 出力の設定が正しくない。(42ページ) ● DVDの出力レベルを設定する。(30ページ) ● 音量が小さくなっている。 ● ATT機能がONになっている。(15ページ) ● スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。(49ページ) <ul style="list-style-type: none"> → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。 ● MP3未対応のCDチェンジャーでMP3ディスクを再生している。 <ul style="list-style-type: none"> → 本機またはソニー製MP3対応のCDチェンジャー(CDX-757MXなど)で再生してください。 ● 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャーで長時間録音のMDを再生している。 <ul style="list-style-type: none"> → ソニー製MDLP対応のMDチェンジャー(MDX-66XLPなど)で再生してください。
<p>ノイズが出る。</p>	<p>各コードは、できるだけ離して取り付け、配置する。</p>
<p>ボタンを押しても動作しない。</p>	<p>RESETボタンを押す。</p>
<p>設定の内容が消えてしまった。</p> <p>操作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● RESETボタンを押した。 ● バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。 ● 電源コードが正しく接続されていない。
<p>ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。</p>	<p>「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定(51ページ)を「ON」にしてください。</p>
<p>ディスクが入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● すでに別のディスクが入っている。 ● イグニッションキーがOFFになっている。

症状	原因・処置
再生が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが裏返しに入っている。 → 再生面を下にして入れてください。 • 再生できないディスクを入れている。(7ページ) • 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。(8ページ) • 結露している。(61ページ) • ファイナライズされていないDVD-R/-RW、CD-R/-RWを再生しようとしている。(7ページ)
MP3ファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 次のようなファイルを再生している。(64ページ) <ul style="list-style-type: none"> — ISO9660レベル1、レベル2、Joliet、Romeoに準拠していないMP3ファイル — MP3PROで記録された音声 — 拡張子が「.mp3」以外のMP3ファイル — 拡張子は「.mp3」だが、MP3形式以外のデータ — MPEG1 Audio Layer3以外の音声ファイル • MP3とJPEGの両方が記録されているディスクを再生している。 → セットアップメニューにある「視聴設定」の「MP3/JPEG」を「MP3」にしてください。(41ページ)
JPEG画像が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 次のような画像データを再生している。 <ul style="list-style-type: none"> — 拡張子が「.jpg」以外のJPEG画像 — 拡張子は「.jpg」だが、JPEG形式以外のデータ • MP3とJPEGの両方が記録されているディスクを再生している。 → セットアップメニューにある「視聴設定」の「MP3/JPEG」を「JPEG」にしてください。(41ページ)
再生がディスクの最初から始まらない。	つづき再生になっている。(21ページ)
自動的に再生が止まる。	オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
オフ、早送り/早戻し、リピート/シャッフル再生などの操作ができない。	操作を禁止しているディスクを再生している。 → ディスクに付属の説明書をご覧ください。

次のページへつづく

症状	原因・処置	
表示窓に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● OFFボタンを押し続けて表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを押し続けて、表示を出してください。 ● フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングしてください。(61ページ) 	
アルバム/トラック名、ID3タグが正しく表示されない。	本機で表示できる文字はアルファベットと数字のみ。それ以外の文字は「_」で表示される。	
「_ _ _ _」表示が消えない。	名前入力モードに入った。 → SYSTEM MENUボタンを押してください。	
音声言語を変更できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの「メニュー」から操作してみる。 ● 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ● 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 	
操作	字幕を変更できない、または消すことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンのSUBTITLEボタンで直接操作する代わりに、プレーモードメニューから操作する。 ● 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 ● 字幕の変更または消すことを禁止しているDVDを再生している。
	アングルを変更して見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンのANGLEボタンで直接操作する代わりに、プレーモードメニューから操作する。 ● 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ● アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。
	リモコンでソースの切り換えができない。	ZONE×ZONEが働いている。 → Z×Zボタンを押して、ZONE×ZONEを解除してください。
	オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。

	症状	原因・処置
ラジオ	受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーアンテナコントロールコード（青色）または、アクセサリ電源用コード（赤色）を、純正アンテナブースターの電源供給コード（車両側）に接続する。 → リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 ● カーアンテナとの接続を確認する。 ● オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールコード（青色）の接続を確認してください。 ● 周波数を確認する。
	◀◀または▶▶ボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみを受信する。 → ローカル受信を解除してください。（51～52ページ） ● 電波が弱くて自動選局できない。 → ◀◀または▶▶ボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
サウンドの設定	ステレオ放送が聞きにくい。 ST表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 周波数を確認する。 ● 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください。（51～52ページ）
	音が出ない。 音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 左右のスピーカー出力のバランス（BAL）、フロントとリアの出力レベル（FAD）の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、FADを調節してください。（49ページ） ● DVDの出力レベルを確認する。（30ページ）

次のページへつづく

エラー/メッセージ表示

本機の動作中や、何か問題が起きた場合、本体の表示窓に以下のエラー/メッセージが表示されます。モニター画面にもエラー/メッセージが表示されますので、併せてご確認ください。

表示	原因	処置
BLANK	ディスクに何も録音されていない。	ほかのディスクに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
ERROR	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
	本機に対応していないディスクを入れている。	対応しているディスクを入れる。
FAILURE	スピーカーやアンプの接続が正しくない。	接続を確認するため、「取り付けと接続」説明書を見る。
LOAD	チェンジャーがディスクを読み込んでいる。	読み込みが終わるまでお待ちください。
L.SEEK +/-	ローカル受信で放送局を探している。	放送局を受信するまでお待ちください。
NO DATA	ディスク名、放送局名が消去されている。	「ディスク/放送局に名前をつける」(53ページ) で名前をつける。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO ID3	再生しているMP3ファイルにID3タグがついていない。	ID3タグのついたMP3ファイルを再生する。
NO MAG	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO MUSIC	本機またはMP3対応のCDチェンジャーに、音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
NO NAME	ディスク名、アルバム名、曲名、放送局名がついていない。	ディスク名、アルバム名、曲名のついたディスクを再生する。 「ディスク/放送局に名前をつける」(53ページ) で名前をつける。

表示	原因	処置
NOT READ	ディスクの情報を読み込んでいない。	読み込みが終わるまでお待ちください。
NOTREADY	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
OFFSET	内部に故障の可能性がある。	接続を確認する。 エラー表示が消えない場合、お近くのソニーサービス窓口にご相談する。
READ	ディスク内のすべてのトラック情報、アルバム情報を読み込んでいる。	読み込みが終わると再生が始まります。しばらくお待ちください。ディスクの階層などによっては、再生開始までに時間がかかることがあります。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のRESETボタンを押す。
LLLLL または ㄱㄱㄱㄱ	手動サーチ中に、ディスクの先頭または終わりになった。	それ以上前、または先に進めることはできません。

用語解説

タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック

ビデオCD、CDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーサラウンド（プロロジック）

ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。

全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVDビデオ

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB（Gigaギガ Byte/バイト）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEGエムペグ2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DVD-RW

DVDビデオと同じサイズで、記録や書き換えができるディスク（ver.1.1）。

DVD-RWにはビデオモード、VRモードという2つの記録モードがある。

ビデオモードは、DVDビデオフォーマットと互換性があり、DVD-RWに対応しているプレイヤーで再生できる。

VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な録画、編集が可能。

DVD+RW

記録や書き換えができるディスク。

DVDビデオフォーマットと互換性がある。

JPEG

ITU-TS（国際電気通信連合）とISO（国際標準化機構）で定めたカラー静止画像の圧縮、展開を決める規格。規格名は、規格を制定した標準作成委員会（Joint Photographic Expert Group）によるもの。

静止画像を1/10～1/100に圧縮する技術で、電子スチルカメラ/画像データベース/テレビ会議/カラープリンタの印刷処理などに応用されている。

MP3

64ページをご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

DVD/CDプレーヤー部

SN比：120dB
周波数特性：10～20,000Hz
ワウフラッター：測定限界以下
全高調波ひずみ率（DVD）：0.01%

チューナー部

FM
受信周波数：76～90MHz（テレビ1～3ch）
中間周波数：10.7MHz/450kHz
実用感度：9dBf
周波数特性：30～15,000Hz
実効選択度：75dB（400kHz）
SN比：67dB（ステレオ）、69dB（モノラル）
ひずみ率（1kHz）：0.5%（ステレオ）、
0.3%（モノラル）
ステレオセパレーション：35dB以上（1kHz）

AM

受信周波数：522～1,629kHz
中間周波数：10.7MHz/450kHz
実用感度：30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス：4～8 Ω
最大出力：52W \times 4（4 Ω 負荷1kHz）

[次のページへつづく](#)

電源部、その他

電源：DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）

出力端子：

- フロント映像/音声出力端子
- リア映像/音声出力端子
- Z×Z音声出力端子
- サブウーファー（モノラル）音声出力端子
- 光デジタル音声出力端子
- アンプコントロール
- アンテナコントロール

入力端子：

- バス音声入力端子/外部音声入力（AUX IN）端子
- バスコントロール入力端子
- リモートコントロール入力端子
- FM/AMアンテナ入力端子（Jaso用）
- ATT入力端子（ナビ用）
- イルミネーションコントロール入力端子
- パーキングブレーキコントロール入力端子

トーンコントロール：

- 低音：±8dB（100Hz）
- 高音：±8dB（10kHz）

ラウドネス：

- 100Hz：+8dB
- 10kHz：+2dB

本体寸法：

約178×50×182mm（幅/高さ/奥行き）

取付寸法：

約178×50×161mm（幅/高さ/奥行き）

質量：約1.3kg

付属品：

- 取り付け/接続部品（一式）
- カードリモコン RM-X702（1）
（リチウム電池（1）を含む）
- 取扱説明書（一式）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 保証書（1）
- ケース（1）

別売品：

- HDD AVナビシステム NV-XYZ88など
- CDチェンジャー（10枚）CDX-757MXなど
- MDチェンジャー（6枚）MDX-66XLPなど
- パワーアンプ XM-460GTXなど
- サブウーファー XS-L1290P5
- 外部入力セレクター XA-300
- ソースセレクター XA-C30
- ロータリーコマンダー RM-X4S
- 1DIN AUXボックス GMD-700
- バス延長コード RC-U305（0.5m）
- 光音声用コード RC-104（5m）
- 電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは29、31、39ページをご覧ください。

言語名表記はISO639:1988 (E/F) に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
1027	Afar	1183	Irish	1349	Macedonian	1507	Samoan
1028	Abkhazian	1186	Scots Gaelic	1350	Malayalam	1508	Shona
1032	Afrikaans	1194	Galician	1352	Mongolian	1509	Somali
1039	Amharic	1196	Guarani	1353	Moldavian	1511	Albanian
1044	Arabic	1203	Gujarati	1356	Marathi	1512	Serbian
1045	Assamese	1209	Hausa	1357	Malay	1513	Siswati
1051	Aymara	1217	Hindi	1358	Maltese	1514	Sesotho
1052	Azerbaijani	1226	Croatian	1363	Burmese	1515	Sundanese
1053	Bashkir	1229	Hungarian	1365	Nauru	1516	Swedish
1057	Byelorussian	1233	Armenian	1369	Nepali	1517	Swahili
1059	Bulgarian	1235	Interlingua	1376	Dutch	1521	Tamil
1060	Bihari	1239	Interlingue	1379	Norwegian	1525	Telugu
1061	Bislama	1245	Inupiak	1393	Occitan	1527	Tajik
1066	Bengali; Bangla	1248	Indonesian	1403	(Afan)Oromo	1528	Thai
1067	Tibetan	1253	Icelandic	1408	Oriya	1529	Tigrinya
1070	Breton	1254	Italian	1417	Punjabi	1531	Turkmen
1079	Catalan	1257	Hebrew	1428	Polish	1532	Tagalog
1093	Corsican	1261	Japanese	1435	Pashto; Pushto	1534	Setswana
1097	Czech	1269	Yiddish	1436	Portuguese	1535	Tonga
1103	Welsh	1283	Javanese	1463	Quechua	1538	Turkish
1105	Danish	1287	Georgian	1481	Rhaeto- Romance	1539	Tsonga
1109	German	1297	Kazakh	1482	Kirundi	1540	Tatar
1130	Bhutani	1298	Greenlandic	1483	Romanian	1543	Twi
1142	Greek	1299	Cambodian	1489	Russian	1557	Ukrainian
1144	English	1300	Kannada	1491	Kinyarwanda	1564	Urdu
1145	Esperanto	1301	Korean	1495	Sanskrit	1572	Uzbek
1149	Spanish	1305	Kashmiri	1498	Sindhi	1581	Vietnamese
1150	Estonian	1307	Kurdish	1501	Sangho	1587	Volapük
1151	Basque	1311	Kirghiz	1502	Serbo- Croatian	1613	Wolof
1157	Persian	1313	Latin	1503	Singhalese	1632	Xhosa
1165	Finnish	1326	Lingala	1505	Slovak	1665	Yoruba
1166	Fiji	1327	Laothian	1506	Slovenian	1684	Chinese
1171	Faroese	1332	Lithuanian			1697	Zulu
1174	French	1334	Latvian; Lettish			1703	無指定
1181	Frisian	1345	Malagasy				
		1347	Maori				

索引

五十音順

ア行

頭出し	12、25、27～28
アルバム	18、28
アングル	18、31
暗証番号	34～37
イコライザー	48～49
イメージ	18、28
エラー表示	70～71
オーディオ	29
オーディオDRC	42
オーディオ設定	42
オートスクロール	52
音声	18、29
音声言語	39
音量	12～13、15

カ行

拡大	32
画質	33
カスタムファイル	53～54
カットオフ周波数	50
カードリモコン	16、62
画面設定	40
画面表示言語	39
言語コード	75
言語設定	39

サ行

再生する	19～20
サブウーファー出力	49
時間	18、28
視聴制限	34～37、41
視聴設定	34～37、41
字幕	18、31
字幕言語	39
シャッター	12、14
シャッフル	18、25～27、56
出力レベル	30

スキップ	55
スクリーンセーバー	40
スクロール	14
ステーションメモ	53～54
ステレオ放送	44
スピーカーバランス	49
ズーム	18、32
スライドショー時間	41
設定のリセット	39
セットアップメニュー	17、38～42

タ行

タイトル	18、28
ダウンミックス	42
地域コード	37
地域番号 (リージョンコード)	8

チャプター	18、28
チャンネル	30
つづき再生	21、41
ディスクの情報	22
ディスクメモ	53～54
テキスト	18、28
デモ	11、52

登録

自動登録	43
手動登録	45～46
時計	10
トラック	18、28
ドルビーデジタル	29～30、42
トレブル	49

ナ行

名前	
探す	46、56
消去する	54
つける	53
表示する	19、44

ハ行

パス	49
バランス	49
ピクチャーEQ	18、33、41
ピープ	51
ヒューズ	61
表示	

CD/MP3	19
ラジオ	44
フェーダー	49
プレイバックコントロール	24
プレイモードメニュー	17～18
プレイリスト再生	41
フロントパネル	11
ベストチューニングメモリー (BTM)	43
ボタンの音	51

マ、ヤ行

メッセージ表示	70～71
メニュー言語	39
モニタータイプ	40
モノラル	44

ラ、ワ行

ラジオ	13、43～46
自動選局	13
登録	43、45～46
名前で探す	46
名前を消去する	54
名前をつける	53
リスト	46、56
リセット	10、39
リピート	18、25～26、56
リモコン	
カードリモコン	16、62
ロータリーコマンダー	57～58

アルファベット順

A.SCR1	52	PBC	24
ANGLE	31	PCM	29~30
ATT	15	PICTURE EQ	33
AUDIO	29	REP	26、56
AUX-A	51	RESET	10
AUX LVL	52、58~59	RM	51、58
BAL	49	SHUF	27、56
BAS	49	SUB	49
BEEP	51	SUBTITLE	31
BTM	43、52	TOP MENU	24
CD/MDチェンジャー	55~56	TRE	49
CD TEXT	7	Z×Z	59~60
CLOCK	51		
CLOCK-ADJ	10、51		
CONTRAST	51		
DEMO	11、52		
DIM	51		
DSO	47		
DTS	9、29~30、42		
DVD	29~42		
DVD/CD	12、19~28		
DVD LVL	30、52		
DVDメニュー	24		
EQ7	48		
EQ7 TUNE	48~49、52		
FAD	49		
HPF	50、52		
IF AUTO/WIDE	45、52		
LOCAL	44、52		
LOUD	52		
LPF	50、52		
M.DSPL	52		
MENU	24		
MONO	44、52		
MP3	19~20、64		
MP3/JPEG	41		
NAME DEL	52、54		
NAMEEDIT	52、53		

商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*.....  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は*..... 03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX..... 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし、内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

- 1：修理受付
- 2：使用方法や故障と思われるご相談
- 3：お買物相談
- 4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
- 5：その他のご相談

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



- 主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています (80%以上)。
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装用緩衝材に発泡スチロールを使用していません。